

科目名	SCH100: 人間学 I			担当教員	丹木 博一, 小林 宏子, 岩崎 明子, 浅野 幸, 袴田 玲, 田村 和子, W. Nampet
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		
担当教員の 連絡情報	各科目担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.				
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味				
授業の 概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者ととともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探究する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。				
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。				
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2＝40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。 【Nampet 講師の評価方法および評価基準は人間学 I（S）のシラバスを参照すること。】				

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1-15	各科目担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		
テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学） 【Nampet 講師のテキストは人間学 I（S）のシラバスを参照すること。】		
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫） 【Nampet 講師の参考書は人間学 I（S）のシラバスを参照すること。】		
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。		

科目名	SCH100: 人間学 I ① <月のみ>				担当教員	田村 和子
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者ととともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。					
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。					
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回。このうち 1 回は、授業内で発表する）（20%×2＝40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について 2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業の概要 上智の人間学について 目標、授業の進め方、課題の説明	講義・質疑応答	テキスト pp.2~13 を読む
2	自己とのかかわり (1) 人間の成長とライフサイクル	講義・質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16~29 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	自己とのかかわり (2) 自由とは	講義・質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.21~44 を読む
4	他者とのかかわり (1) かかわりの視座	講義・質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.46~58 を読む
5	他者とのかかわり (2) ジェンダーと他者	講義・質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.59~68 を読む
6	社会とのかかわり (1) グローバルな世界	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	事前に説明した課題について調べる。 中間課題(a)提出
7	社会とのかかわり (2) 公正な社会、差別	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.70~79 を読む
8	社会とのかかわり (3) 開発経済の問題点	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.80~92 を読む
9	自然とのかかわり (1) 自然環境と人間	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.94~107 を読む
10	自然とのかかわり (2) 自然観の変遷	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.108~117 を読む
11	生命とのかかわり (1) 生命	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.120~133 を読む 中間課題(b)提出
12	生命とのかかわり (2) 死	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.134~144 を読む
13	かかわりの源泉へ (1) 人間と宗教	講義・中間課題発表・ 質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.146~160 を読む
14	かかわりの源泉へ (2) 人間学とキリスト教ヒューマニズム	講義・質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.161~175 を読む
15	まとめ 「かかわるとは」	講義・質疑応答	授業を通して考えたこと、参考文献をもとに小論文を作成する。

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I ② <月のみ>				担当教員	浅野 幸
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	P.28 参照のこと
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。					
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。					
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2=40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	人間学の概要・目的・方法、キリスト教的ヒューマニズムについての予備理解	講義、グループ分け、リアクションペーパー	テキスト pp.9～10, pp.161～175, プリント (1)
2	動物と人間	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.16～17, プリント (2)

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	人間らしさと成長	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.18～29, プリント (3)
4	他者と共に生きるということ ～友情、愛、結婚について	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.59～68, プリント (4)
5	人間と自然	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.93～116, プリント (5)
6	生命とのかかわり (1) 妊娠・出産にかかわる諸問題を通して考える	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.119～133, プリント (6)、中間課題提出
7	生命とのかかわり (2) 病苦・死について考える。	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.134～144, プリント (7)
8	人間と社会 (1) 移民・差別などの社会問題を通して考える	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.69～79, プリント (8)
9	人間と社会 (2) 国際社会における開発と経済の問題を通して考える	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.80～92, プリント (9)
10	人間の自由とモラル、良心	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.30～44, プリント (10)、中間課題提出
11	文化を創造する人間 (1) 言語行為と言語文化	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.46～58, プリント (11)
12	文化を創造する人間 (2) 科学技術と芸術	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	プリント (12)
13	人間と時間、歴史	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	プリント (13)
14	生の意味と魂の深みの次元、人間にとっての宗教	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.146～160, プリント (14)
15	まとめ	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト pp.146～175, 期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛すること』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫） 神谷美恵子『人間をみつめて』（河出書房新社）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I ③ <月のみ>					担当教員	小林 宏子
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4204	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2=40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	導入：なぜ人間学を学ぶのか 講義の概要・目的・授業の進め方	講義、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp.2-13; 161-175 を読む
2	人間はどのような動物か 人格としての人間の特徴	講義、DVD 視聴、意見交換	テキスト pp.16-17; 120-123 のリアクションペーパー準備

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	人格形成の途上にある「私」 甘えと自立：精神的成長について	講義、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp.18-29 のリアク ションペーパー準備
4	「自由」について考える (1) 感情と「私」、意志の自由	講義、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp.30-39 のリアク ションペーパー準備
5	「自由」について考える (2) 未来の「私」からの呼びかけ	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.39-44 のリアク ションペーパー準備
6	他者とのかかわり 家族におけるコミュニケーション	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.46-58 のリアク ションペーパー準備
7	他者との共生・よく生きること 中間課題 (a) の提出	講義、意見交換、 リアクションペーパー	中間課題(a)の準備
8	ジェンダーとセクシュアリティ (1) 生き方としての性	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.59-68 のリアク ションペーパー準備
9	ジェンダーとセクシュアリティ (2) 成熟と性	講義、意見交換、 リアクションペーパー	配布プリントについての考 察
10	社会とのかかわり 公正な社会、差別なき世界へ	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.70-79 のリアク ションペーパー準備
11	自然とのかかわり さまざまな自然観、中間課題 (b) の提出	講義、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp.108-117 を読む 中間課題(b)準備
12	生命とのかかわり (1) 生命のはじまり：選ばれるいのち	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.120-133 のリア クションペーパー準備
13	生命とのかかわり (2) 死をめぐるかかわり：尊厳ある死とは	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.134-144 のリア クションペーパー準備
14	かかわりの源泉へ 苦難の中で発揮される人間の超越性	講義、DVD 視聴、 リアクションペーパー	テキスト pp.146-160 のリア クションペーパー準備
15	人間学とキリスト教ヒューマニズム 期末課題の提出	発表、意見交換	期末課題の準備

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛すること』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I ④ <月のみ>				担当教員	岩崎 明子
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4213	オフィスアワー P.28 参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。					
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。					
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2=40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	上智大学の人間教育とは 授業の概要と説明	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 1~14
2	自分とのかかわり —動物と人間のちがいは	講義、DVD、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 1~17, 120~122 プリント

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	自分とのかかわり —愛されることと人間の成長について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 18~21 プリント
4	自分とのかかわり —家族の役割とは	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 22~29 プリント
5	自分とのかかわり —人間の自由について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 30~44
6	他者とのかかわり —他者とのコミュニケーションについて	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 45~58、 中間課題（a）の提出
7	他者とのかかわり —成熟・エロス・ジェンダーについて	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 59~68
8	社会とのかかわり —差別と人間の尊厳について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 69~79
9	社会とのかかわり —貧しさと豊かさを生む経済について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 80~92
10	自然とのかかわり —環境問題とエコロジーについて	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 93~117
11	生命とのかかわり —生命科学と生命倫理について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 119~129、 中間課題（b）の提出
12	生命とのかかわり —いのちの値について	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 129~133 プリント
13	生命とのかかわり —人間らしく死を迎えるとは	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 134~144
14	かかわりの源泉へ —人生の苦難と救い	講義、DVD、意見交換、 リアクションペーパー	テキスト pp. 145~160
15	かかわりの源泉へ —私の人生の意味と希望	講義、意見交換、リ アクションペーパー	テキスト pp. 161~175 プリント、期末課題の提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛すること』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I ⑤ <月のみ>					担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者ととともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2=40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2 回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	人間学の概要・目的・進め方	講義、グループ分け、リアクションペーパー	テキスト 2～13 頁、161～175 頁を読む
2	動物としての人間の特徴 —生物学の視点から見た人間	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト 16～17 頁と 120～133 頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	生きることと愛されること —発達心理学の視点から見た人間	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト 18～21 頁を読む
4	家族とのかかわり —家族社会学の視点から見た人間	講義、絵本朗読、グループディスカッション、リアペ	テキスト 21～29 頁を読む
5	成熟・エロス・ジェンダー —ジェンダー論の視点から見た人間	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト 59～68 頁を読む
6	他者とのコミュニケーション —言語学の視点から見た人間	講義、DVD 視聴、ディスカッション、リアクションペーパー	テキスト 46～58 頁を読む 中間課題(a)提出
7	自由・幸福・よく生きること —倫理学の視点から見た人間	講義、絵本の朗読、グループディスカッション、リアペ	テキスト 30～44 頁を読む
8	人間のニードと経済 —経済学の視点から見た人間	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	テキスト 80～92 頁を読む
9	環境のなかの人間 —環境学の視点から見た人間	講義、写真集閲覧、グループディスカッション、リアペ	テキスト 94～117 頁を読む
10	人権と世界平和 —国際関係論の視点から見た人間	講義、DVD 視聴、ディスカッション、リアペ	テキスト 70～79 頁を読む
11	死の意味 —死生学の視点から見た人間	講義、絵本の朗読、グループディスカッション、リアペ	テキスト 134～144 頁を読む 中間課題(b)提出
12	人生の価値 —哲学と文学から見た人間	講義、絵本の朗読、グループディスカッション、リアペ	テキスト 30～44 頁を読む
13	人生の苦難と救い —宗教学・神学の視点から見た人間	講義、DVD 視聴、グループディスカッション、リアペ	テキスト 146～160 頁を読む
14	自分の人生の意味と希望 —哲学の視点から見た人間	講義、写真集閲覧、グループディスカッション、リアペ	テキスト 161～175 頁を読む
15	まとめ	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I ⑥ <月のみ>				担当教員	袴田 玲
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味					
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者ととともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。合同授業を通して本学の教育理念を理解する。					
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、人格的主体として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。					
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業への積極的参加（15%）、②授業毎のリアクションペーパー（15%）、③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート 2 回）（20%×2=40%）、④期末課題（2,000 字以上のレポート）（30%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業への積極的参加：真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ③中間課題：1,000～1,200 字の小レポート×2回。 (a)「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 (b)「社会制度や自然環境の下でのよい生き方」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ④期末課題：人間の「有限性」についての理解を踏まえた上で、「生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、人はなぜ生きるのか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	人間学の概要・目的・進め方 「人間」とはなにか	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.8-10、pp.16-17
2	自分とのかかわり (1) 「私」とはなにか	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.18-26

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
3	自分とのかかわり (2) 性とジェンダー	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.26-29、pp.59-68
4	他者とのかかわり コミュニケーションの可能性と不可能性	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.46-58
5	社会とのかかわり (1) 人権と差別	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.70-79
6	社会とのかかわり (2) 開発と格差	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.80-92 中間課題(a)提出
7	自然とのかかわり 現代社会と環境問題	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.94-107
8	人間の自由と責任	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.30-44
9	生命とのかかわり (1) いのちの始まりと生殖医療	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.120-129
10	生命とのかかわり (2) 出生前診断と人工妊娠中絶	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.129-133 中間課題(b)提出
11	生命とのかかわり (3) 「尊厳ある死」とはなにか	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.134-140
12	生命とのかかわり (4) 終末期医療と QOL	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.140-144
13	人間と宗教 日本人は「無宗教」？	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.146-160
14	キリスト教の人間理解 呼びかけと応答	講義、映像視聴、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.161-175
15	まとめ 「人間」とはなにか	講義、意見交換、リアクションペーパー	期末課題提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。 あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。

科目名	SCH100: 人間学 I (S) <月のみ>				担当教員	W. Nampet
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	P.28 参照のこと
キーワード	Humanity, Human Evolution and Behaviors, Life, Consciousness, Freedom, Morality, Maturity.					
授業の概要	Anthropology, a study of humanity, deals with all that is characteristic of the human experiences, from physiology and the evolutionary origins to the social and cultural organization of human societies as well as individual and collective forms of human experiences. This course focuses on the understanding of human evolution, and the main essential characteristics of becoming an individual as human “life”, namely, development of consciousness, freedom, morality, maturity, Eros, etc.					
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 The aim of this course is to examine a view of human being in accordance with the spirit of the Sophia foundation, which is grounded on Christ’s teachings on humanism. Within this connection, it aims to help students to appreciate human dignity existing in an individual based on the studies of human history and development; the uniqueness of characters of human life and behaviors (i.e., consciousness, freedom, morality, socialization, etc.) 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 By the end of the semester, students will be able to explain how a human individual exists in the context of human history and evolution; and describe the uniqueness of human characteristics and behaviors in general.					
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 Class participations (30%), Class assignments (20%), Formative assessments (30%), Midterm exam (20%) . 【評価基準 <i>Criteria</i>】 Class participation (regularly-actively attending classes, a daily quiz of knowledge gained from the previous lesson, individual idea contributions and asking questions, and group discussions); Class assignments (short reports, film critiques, reading assignments, homework, and self-studies); Formative assessments (two short objective tests held two weeks prior to the Midterm, and the end of semester to assess students’ understanding of the course content matters before and after the Midterm); and Midterm exam (a written exam: objective and subjective types).					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Introduction: Review of Basic Concepts Related	PPP-presentation, lecture, discussion	Course Orientation
2	Life Existence & Evolution	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Human Origins set 1
3	Scientific Search for Human Origins	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Human Origins set 2
4	Characteristics of Human Behaviors	Individual studies and repots	Research in the library
5	Development of Human Characteristics and Psychological Traits	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Early Human Behaviors and psychological traits
6	Formative Assessment I Development of Human Mind	The first short test, PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Human mind
7	Stages of Development of Consciousness	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Development of Consciousness

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
8	Mid-term Exam Introduction to Moral Development	Written exam, Film show	Handout for reading: Stages of Moral Development; discussion on the films.
9	Moral Development Theory	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Moral Development Theory
10	Moral Issues—Case studies	Individual and group discussion	Case studies of some Moral issues for an individual analysis and reports; and for group work prepared for an in- class report and discussion
11	Human Freedom	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Human Freedom
12	Maturity and Eros	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Personality Theory
13	Formative Assessment II Current Issues: Globally and Locally	The second short test; Film show, discussion	Film shows based on “Selective Issues” for in-class discuss and for an individual critics
14	Current Issues: Globally and Locally	Film show, discussion	Film shows based on “Selective Issues” for in-class discuss and for an individual critics
15	Course review and Conclusion	PPP-presentation, lecture, discussion	Wrapping-up materials from which some crucial questions will be asked for students to prepare for the class discussions.
テキスト	Articles taken from various sources will be given to students according to the topics related in a form of class handouts which are selected, edited and / or written by the teacher of this course.		
履修条件、 前提科目	TOEIC-IP score: 400 or above.		
その他 特記事項	高祖敏明理事長による人間学合同授業が 6 月 1 日（水）の 3 限に行われるが、必ず出席すること。		

科目名	SCH101: 人間学Ⅱ					担当教員	小林 宏子
開講期	秋	開講時限	水1限	研究室	4204	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	キリスト教ヒューマニズム、人間の尊厳、個人の尊厳、人格形成、主体性、自由、愛						
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人格的存在として生きるとはどのようなことか」という問いについて、「主体性」「自由」「愛」に関する観点から考察を行う。テキスト講読を通して、人間理解のためのキリスト教的視点を学び、「他者のために、他者ととともに」生きることの意義を学ぶ。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 人格的主体として生きる人間の尊厳の意味を理解するために、人間性が備える種々の可能性の高みと深みを理解し、他者、社会、超越的存在と関わって生きる個人の「主体性」の意味について理解できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ① キリスト教ヒューマニズムにおける人格性の特徴を表すキーワードの意味内容を理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ② 「各人固有の存在意義」について考察し、自他の存在を肯定的に受容することの意義を理解し表現できる。 ③ 世界で起こる事柄を「他者と共に生きること」に伴う自己の課題として受け止め、「他者のために」という姿勢で応答することの意義を理解し、表現できる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業参画とコメントシート（40%）、中間課題（1,800 程度のレポート 25%）、期末課題（2,500 字程度の小論文 35%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ① 授業参画とコメントシート：教科書及び授業で学ぶキーワードの意味内容を理解した上で、自分の現実的経験と関連付けて考察し、コメントシートやディスカッションにおいて効果的に表現できること。 ② 中間課題：「自分を愛すること」について、人格形成や主体性の視点と関連付けて問いを立てて考察し、その内容と自分の意見とを、分かりやすく表現できること。 ③ 期末課題：参考文献の一冊を読み、授業の学びも踏まえた上で、「より人間らしい世界の建設にとって必要なことは何か」について、参考文献の内容とそこから展開した自分の意見とを区別し、小論文の形で表現できること。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	講義概要の説明と人格の定義	講義、質疑応答	テキスト pp.12～23、112-116 を読む
2	人格化のプロセスとしての成長	講義、意見交換	テキスト pp.24～56 のコメントシート準備
3	人格性の特徴	講義、意見交換	テキスト pp.235～264 のコメントシート準備
4	人格としての生き方と接し方（1） 主体性を持って生きる	講義、意見交換	テキスト pp.56～78 のコメントシート準備
5	人格としての生き方と接し方（2） 意味を与えて生きる	講義、DVD 視聴	テキスト pp.78～111 のコメントシート準備
6	人間理解について	講義、意見交換	テキスト pp.117～142 のコメントシート準備
7	他人を理解すること	講義、意見交換	テキスト pp.142～158 のコメントシート準備

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
8	愛について	講義、DVD 視聴	テキスト pp.159～199 のコメントシート準備
9	人間の尊さ	講義、DVD 視聴、意見交換	テキスト pp.265～303 のコメントシート準備
10	精神衛生について	講義、意見交換	テキスト pp.265～303 のコメントシート準備
11	防衛機制と成熟した人格の特徴	講義、意見交換	テキスト pp.303～324 のコメントシート準備
12	聖書に見るヒューマンイズムの源	講義、意見交換	テキスト pp.45-47 を読む、期末課題の準備
13	キリスト教の歴史に見られるヒューマンイズム	講義、DVD 視聴、意見交換	テキスト pp.47-51 を読む、期末課題の準備
14	キリスト教ヒューマンイズムの 7 つの命題	講義、意見交換	テキスト pp.52-58 を読む、期末課題の準備
15	まとめと発表	発表、意見交換	期末課題の準備と提出

テキスト	渡辺和子『「ひと」として大切なこと』（PHP 文庫） 上智大学『叡智を生きる』刊行委員会＜編＞『叡智を生きる』（上智大学出版）
参考書	ジャン・パニエ『人間になる』（新教出版社） ハイメ・カスタニエダ＋井上英治編『現代人間学』（春秋社）
その他 特記事項	「人間学Ⅰ」に続き、本学の建学精神に基づく人間観を深めたいという意欲のある学生の履修を望む。

科目名	SCH101: 人間学Ⅱ				担当教員	田村 和子
開講期	秋	開講時限	水2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	P.28 参照のこと
キーワード	女性、ライフサイクル、他者、平和、					
授業の概要	人間学Ⅱでは、「人間として、女性として生きる」をテーマに考察を深めていきたい。 まず、様々な時代、国において、困難に出会いながらも自分の意志を貫いた女性の生涯を取り上げ、彼女たちがどのように道を選び、切り拓き、歩んだかを知る。 また、彼女を支えた根源的な力は何だったのかを考え、今を生きる私たちがそこから学ぶことは何かを話し合い、深める。 次に、視点を、現代の私たちに移し、女性を取り巻く問題を取り上げ、社会、家庭、労働、グローバル化、生命、死、について調べ、考察する。 それらの学習を通して、これからの時代、私たちはどのように生き、平和で幸福な社会を築くために他者、社会にどんな貢献ができるかを考える。					
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 ・先人の生涯を通して、私たちひとり一人に与えられている人生の意味について話し合い、ひとり一人が固有性を持った人間であるという理解を深めることが出来る。 ・女性として、また他者の為に、他者と共にこの社会をどう生きるのか自分の考えを持つ。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①人間学Ⅱの目的を知り、積極的に授業、課題に取り組む。 ②歴史の中で、様々な困難、人々とのかかわりを通して生きたモデルを知り、その生き方について深め、自分の考えをもつ。 ③社会における女性を取り巻く問題を具体的に調べ、状況を理解し、自分はどのように生きて行くのか、社会に何を貢献できるかを考え、表現することが出来る ④一人の女性の生き方を調べ、彼女の人生について考えを深め、自分自身の固有性について考えることが出来る。					
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業参画（20%）②授業毎のリアクションペーパー（30%）③中間課題：研究テーマに基づく調査、考察、発表、発表パワーポイント（25%）④期末課題：課題図書を読み（25%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業参画：授業に積極的に参加し、自分の考えをまとめ、話すことが出来る。 ②リアクションペーパー：授業を通して理解したこと、また自分の考え、意見を文章で表現できる。 ③中間課題：自分の関心のある研究テーマを選び、調べ、自分の考えを深め、プレゼンテーションすることができる。 ④期末課題：課題図書の中から人物を選び、時代背景、歩み調べ、その生き方と自分の考えを照らして文章で表現できる。 レポート作成に際しネットからの無断借用があった場合は0点					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業の概要、目的進め方について	講義・質疑応答	『かかわりの人間学』pp.6～13を読む
2	女性の生き方 先人に学ぶ 津田梅子	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパー
3	女性の生き方 先人に学ぶ 井深八重	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
4	女性の生き方 先人に学ぶ レイチェル・カーソン	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパー
5	女性の生き方 先人に学ぶ マザー・テレサ	講義・質疑応答	プリントを読む リアクションペーパー
6	私たちを取り巻く問題 ライフサイクル	講義・質疑応答	テーマにそった資料集め 中間課題の提出
7	私たちを取り巻く問題 女性と働くこと	講義・質疑応答	テーマにそった資料集め 中間課題の提出
8	私たちを取り巻く問題 女性と家庭（結婚・子育て）	講義・中間課題発表	テーマの発表準備
9	私たちを取り巻く問題 女性と社会	講義・中間課題発表	テーマの発表準備
10	私たちを取り巻く問題 女性と世界	講義・中間課題発表	テーマの発表準備
11	私たちを取り巻く問題 いのちと死	講義・中間課題発表	テーマの発表準備
12	これからの女性と社会の展望 食と環境	講義・話し合い	『かかわりの人間学』 pp.96～107 新聞の中からテーマに関連 する記事を探してくる
13	これからの女性と社会の展望 グローバル化	講義・話し合い	『かかわりの人間学』 pp.86～92 新聞の中からテーマに関連 する記事を探してくる
14	これからの女性と社会の展望 世界の紛争の中で平和とは	講義・話し合い	新聞の中からテーマに関連 する記事を探してくる
15	まとめ	講義・質疑応答	授業の振り返り 期末課題の提出

テキスト	瀬本正之・片山はるひ編『かかわりの人間学』（上智大学）
参考書	長島世津子『女の子からの出発』（丸善プラネット）
履修条件、 前提科目	原則として「人間学Ⅰ」を履修済みであること。
その他 特記事項	受講者、人数によって計画を変更することがある。

科目名	SCH101: 人間学Ⅱ (S)					担当教員	W. Nampet
開講期	秋	開講時限	水 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Nature, Societies, Culture, Nation, Family, Social Obligation, Religion, Religious beliefs and Faith						
授業の概要	The course primarily focuses on perspectives of human relationships within nature and societies. Specially, it deals with both personal and collective relationships within the family, other persons, communities, the nation and the natural environments with ethical and intellectual awareness, obligations and responsibilities. In addition, some complex issues and deeper perspectives such as life and death, faith, belief, and religion will be also introduced with regard to human dignity.						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 In connection with the Course Anthropology I, it aims to help students to gain their better understanding and appreciation of not only human growth and relationships existing in natural environment, the nation, cultural societies and family; but also deeper perspectives of human life (i.e., life and death, faith and religion); and to apply their understanding as such in contemporary issues and problems with regard to human life and relationships as such. 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 By the end of the semester, students will be able to describe the main aspects of human relations to the family, the society, the nation, natural environments, and the global community; and to discuss on particular deeper dimensions of human life and death, faith and religions; and contemporarily social problems and issues concerning such human relationships and dignity.						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 Class participations (20%), Class assignments (30%), Summative assessment (25%), Midterm exam (25%) . 【評価基準 <i>Criteria</i>】 Class participation (regularly-actively attending classes, a daily quiz of knowledge gained from the previous lesson, individual idea contributions and asking questions, and group discussions); Class assignments (short reports, research field works, film critiques, reading assignments, homework, and self-studies); Midterm exam (a written exam: objective and subjective types); and Summative assessments Summative assessments (a long written test held near the end of semester to assess students' overall understanding of the course content matters).						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Introduction to the course	PPP-presentation: Lecture	Course Orientation
2	Relation to Nature: Oriental perspectives	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Oriental Perspectives on Nature
3	Relation to Nature: Western perspectives	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Western Perspectives on Nature
4	Relation to Other Persons: Human relationship (How to do a research in Social Sciences)	PPP-presentation, lecture, film show, discussion	Handout for reading: Social Context of Human Development and Relationships
5	Relation to Other Persons: Man and Family, Peers & Colleagues (Doing field work research)	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Socialization
6	Relation to Other Person: Maturity & Love	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Maturity for Affection and Love
7	Field Work Research: Man and the Nation	Guideline of Data Collection I	Field Work
8	Field Work Research: Man and the Nation	Questionnaires & Guideline for Interview	Field Work

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	Midterm exam Research Reports	Written examination Students' presentations of fieldwork	Objective and subjective tests Research Reports
10	Introduction to Japanese Culture	PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Japanese culture
11	Japanese culture: Its Roots and Influences	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Japanese culture
12	Relation to Society: Man and Modern Worldview	PPP-presentation, lecture, discussion, film show	Handout for reading: Man and Modern Worldview
13	Relation to Deeper Perspectives: Life and death;	The second short test; PPP-presentation, lecture, discussion	Handout for reading: Life Span, Life & Death
14	Christian View on Human Being Religious Beliefs and Faith Summative Assessment	PPP-presentation, lecture, discussion Assessing students' overall understanding of the course content matters	Handout for reading: Religion & Religious Beliefs / Piety; Christian View on Human Being; Questionnaires for summative assessment
15	Course review and Conclusion	Discussion	Wrapping-up materials from which some crucial questions will be asked for students to discuss.
テキスト	Articles taken from various sources will be given to students according to the topics related in a form of class handouts which are selected, edited and / or written by the teacher of this course.		
履修条件、前提科目	TOEIC-IP score: 400 or above.		

科目名	HST200: 歴史学					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4202	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、史料論、歴史理論、国際歴史認識問題、歴史教育						
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」をめぐるどんな疑問が提示され、どんな議論がなされてきたのかを学ぶ。特に「唯一絶対の歴史」にひそむ西欧中心主義と、近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 近年の歴史認識をめぐる議論で使われる用語・概念を理解し、受講生がそれを用いて「他者とともに生きる歴史」について各自の見解を論述できるようにすることが目標である。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 参考資料を読み、事典・参考書で調べることで用語を理解し、講義後に履修カードのまとめ欄に要約や質問を記入することで、各回のポイントを把握できるようになる。授業中に理解度をみるため指名式で問うので、把握した内容を自分の言葉で短くまとめられるようになる。試験ではそれを論述できるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①初回と最終回を除く各回提出の履修カードのまとめ：2%×26回＝52%、②授業中の指名による問いへの答え：1%×26回＝26%、③ペン書きの授業内試験：22%×1回＝22%となる。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①履修カードは、要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。研究倫理を守らない（友達のカードを移したりネット情報を無断引用したりなど）場合は0点、授業を欠席した回の履修カードは採点対象にならない。 ②授業中の指名式の問いかけ：問いに答えるだけでなく、自発的な意見表明、質問もカウントする。 ③授業内試験：用語説明ができていないか、授業内容を理解しているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	講義の概要説明、歴史学の諸問題について、研究倫理について	講義、質疑応答	復習
2	歴史学の歴史（1）古代・中世ヨーロッパ	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
3	歴史学の歴史（2）ルネッサンスから啓蒙時代	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
4	歴史学の歴史（3）中国	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
5	歴史学の歴史（4）日本	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
6	歴史学の歴史（5）ランケ史学 ―近代歴史学の登場	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
7	歴史学の歴史（6）アナール派 ―「民衆」の歴史	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
8	史料を読むために（1）古書体学、古書冊学、文書形式学	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
9	史料を読むために（2）暦について	講義、質疑応答	復習、履修カード記入

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	史料を読むために（3）図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
11	史料を読むために（4）考古学と文化人類学	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
12	史料を読むために（5）オーラルヒストリー	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
13	研究紹介 マルク・ブロック『王の奇跡』と中間試験	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
14	理論（1）西欧哲学の世界観	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
15	理論（2）構造主義とポスト構造主義	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
16	理論（3）言語論的転回と歴史学	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
17	理論（4）文学とポストコロニアリズム	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
18	理論（5）歴史修正主義と社会構築主義	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
19	理論（6）ジェンダーと歴史学	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
20	歴史とメディア（1）写本からマス・メディアの登場まで	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
21	歴史とメディア（2）現代メディアの問題点	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
22	歴史教育（1）国際歴史教科書問題ーヨーロッパ	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
23	歴史教育（2）国際歴史教科書問題ー日本・韓国・中国	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
24	歴史教育（3）英国の歴史教育	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
25	震災と歴史	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
26	まとめ、授業内試験	講義、質疑応答、試験	復習、履修カード記入 試験対策
27	研究紹介 網野善彦『異形の王権』	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
28	研究紹介 ミッシェル・フーコー『監獄の歴史』	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
29	研究紹介 ナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	講義、質疑応答	復習、履修カード記入
30	歴史学の諸問題のまとめ、授業内試験の返却と解説	講義、質疑応答、試験返却と解説	復習、履修カード記入

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	J・H・アーノルド『1冊でわかる歴史学』（岩波書店）

科目名	PHL200: 哲学					担当教員	丹木 博一
開講期	春／秋	開講時限	(春)火金4限 (秋)火金1限	研究室	4214	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	世界の現れ、存在と無、時間、身体、言語、自己と他者、世界に対する態度						
授業の概要	世界が私に現れ、その世界のうちに私が住まうということの謎を、認識論、存在論、行為論、他者論などさまざまな視点から哲学的に考察する。主要な哲学者の言葉をていねいに読み解きながら、代表的な哲学的問いに親しみ、ディスカッションを通して互いに考えを鍛え上げていく。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 何気ない日々の営みの中にさまざまな哲学的な謎が潜んでいるということに気づき、その謎の成り立ちを西洋哲学の歴史に照らして考え進めることができるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・ 西洋哲学史を彩る大哲学者たちの思想の基本を理解し、それを表現できる。 ・ 哲学的問いの重要性を自覚し、自ら問いを提起することができる。 ・ 自分が立てた問いについて論理的に筋道を立てて考察を進めることができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業毎のリアクションペーパー (30%)、中間レポート (1,500 字以上) (20%)、期末レポート (2,500 字以上) (50%) 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 中間レポート：哲学的問いを提起し、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 期末レポート：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを自分の言葉で論じることができるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	哲学とは何か	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① i -iii 頁 テキスト② i 頁
2	世界が見えるということの謎 (1) 感覚と知覚	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②39-56 頁 ロックについての予習復習
3	世界が見えるということの謎 (2) 錯覚の理由	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②1-20 頁 デカルトについての予習復習
4	世界が見えるということの謎 (3) 世界全体の始まりへの問い	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①1-14 頁 タレスについての予習復習
5	世界が見えるということの謎 (4) 世界のリアリティへの問い	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①57-76 頁 ソフィストとソクラテスの予習復習
6	有ることと無いこととの関係 (1) 想像力の働き	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト①15-28 頁 ヘラクレイトスの予習復習
7	有ることと無いこととの関係 (2) 生成変化の可能性	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①97-116 頁 アリストテレスの予習復習
8	有ることと無いこととの関係 (3) 対象喪失の意味	講義・絵本朗読 ディスカッション・リアペ	テキスト①29-42 頁 エレア派についての予習復習
9	時間とは何か (1) 過去 過去は過ぎ去ってしまったのか	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト①165-184 頁 アウグスティヌスの予習復習
10	時間とは何か (2) 未来 まだない未来に何の意味があるのか	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①237-254 頁 オッカムについての予習復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	時間とは何か (3) 現在 現在は単なる瞬間だろうか	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②209-224 頁 ベルクソンについての予習復習
12	身体の重層性 (1) 客体 身体があるからこそその不自由	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①77-96 頁 プラトンについての予習復習
13	身体の重層性 (2) 媒体 触れられつつ触れるということ	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②75-90 頁 バークリについての予習復習
14	身体の重層性 (3) 主体 身体を動かすことができるという謎	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②21-38 頁 マールブランシュの予習復習
15	言語の多面性 (1) 記号 言葉の起源はどこにある	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト②107-122 頁・コンディ ヤック・中間レポート提出
16	言語の多面性 (2) 個と普遍 言葉が言葉だと分かるのはなぜか	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト①185-200 頁 ポエティウスの予習復習
17	言語の多面性 (3) 世界の表現 言葉以前の世界に戻るか	講義・詩の朗読 ディスカッション・リアペ	テキスト②123-142 頁 カントについての予習復習
18	感情の力 (1) 世界を開示する働き	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①117-132 頁 ストア派についての予習復習
19	感情の力 (2) 世界を分割する働き	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①43-56 頁 エンペドクレスの予習復習
20	感情の力 (3) 世界を特定の様相のうちに示す働き	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①217-236 頁 トマス・アキナスの予習復習
21	自己の成り立ち (1) 明証性と偶然性	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②1-20 頁 デカルトについての予習復習
22	自己の成り立ち (2) わたしの自己同一性の諸相	講義・詩の朗読 ディスカッション・リアペ	テキスト②91-106 頁 ヒュームについての予習復習
23	自己の成り立ち (3) 自分を物語る	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②57-74 頁 ライブニッツの予習復習
24	他者との関係 (1) 自己と他者の境界	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②143-158 頁 フィヒテについての予習復習
25	他者との関係 (2) 自己と他者の交わり	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト②159-176 頁 ヘーゲルについての予習復習
26	他者との関係 (3) 他者への超越	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト②241-258 頁 レヴィナスについての予習復習
27	世界に対する態度 (1) 意志と習慣	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①97-116 頁 アリストテレスの予習復習
28	世界に対する態度 (2) 思考と表現	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト①201-216 頁 偽ディオニシオスの予習復習
29	世界に対する態度 (3) 住む/旅する	講義・DVD 視聴 ディスカッション・リアペ	テキスト②177-192 頁 ニーチェについての予習復習
30	まとめ	講義・ディスカッション リアクションペーパー	期末レポート提出

テキスト	①熊野純彦『西洋哲学史—古代から中世へ』（岩波新書） ②熊野純彦『西洋哲学史—近代から現代へ』（岩波新書）
参考書	伊藤邦武『物語 西洋哲学史』（中公新書） 新田義弘『哲学の歴史』（講談社現代新書）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問点がある場合は、質問を歓迎する。

科目名	PHL202: 女性と哲学				担当教員	浅野 幸	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	女性のありかた、ジェンダー、共生、生命、働くこと、自由。						
授業の概要	現代社会に生きる女性が直面する問題、その背景について理解し、聖書や女性哲学者たちのテキストの読解を通して、女性として豊かに生きる可能性について哲学的に考察する。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「女性であること」から生ずる問いに真摯に向き合い、テキストや他者の考えとの対話を通して、問いを自分の言葉で展開し、考えを表現することができる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・女性をとりまく問題や背景について理解することができる。 ・聖書や哲学的テキストを読解し、理解したことを表現できる。そこから女性としての自己の生き方について、考察を展開することができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業やディスカッション、発表への積極的参加（30%）、授業ごとに提出するリアクションペーパー（30%）、学期末に提出するレポート（40%）。レポートは、授業に関連することから自由にテーマを設定し論述する。2,500字以上。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ・ディスカッション、発表に積極的に参加できているか。 ・授業で理解したことや討論したことについて、リアクションペーパーで自分の言葉で表現できているか。 ・期末レポートにおいて、問い・主題を明確に提示した上で、理解内容・考察を論理的に展開できているか。註や参考文献について適切に表記できているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	オリエンテーション	講義、グループ分け	講義で提示した問題について考える
2	「女性らしさ」、性別とは	討論、講義	配布資料を読む。討論と発表の準備
3	現代社会で女性が直面する問題（1）	討論、講義	討論と発表の準備
4	現代社会で女性が直面する問題（2）	発表、討論	討論と発表の準備、振り返り
5	ジェンダーについて I. イリイチの思想（1）	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
6	ジェンダーと共生社会 I. イリイチの思想（2）	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
7	さまざまな文化における女性たち（1） 日本の伝統と女性、現代の日本の女性	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
8	さまざまな文化における女性たち（2） イスラーム社会の女性	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
9	聖書の中の女性たち（1） 女性の視点で聖書を読む	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
10	聖書の中の女性たち（2） 旧約聖書の女性たち	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	聖書の中の女性たち（3） イエスとかかわった女性たち	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
12	聖書の中の女性たち（4） マリアという女性	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
13	聖書におけるエロスと女性 『雅歌』を読む	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
14	考える女性たち、その1 ビンゲンのヒルデガルド（1）人と思想	講義、資料視聴	配布資料を読み講義で出された問題を考える
15	ビンゲンのヒルデガルド（2） 女性的なるものの神学1：性と隠喩	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
16	ビンゲンのヒルデガルド（3） 女性的なるものの神学2：母性と知恵	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
17	ビンゲンのヒルデガルド（4） 癒しの自然学	講義	配布資料を読み講義で出された問題を考える
18	考える女性たち、その2 シモーヌ・ヴェイユ（1）人と思想	講義、資料視聴	配布資料を読み講義で出された問題を考える
19	シモーヌ・ヴェイユ（2） 『根をもつこと』を読む：自由と平等	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
20	シモーヌ・ヴェイユ（3） 『根をもつこと』を読む：労働について	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
21	シモーヌ・ヴェイユ（4） 『根をもつこと』を読む：根とは？	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
22	考える女性たち、その3 ハンナ・アレント（1）人と思想	講義、資料視聴	配布資料を読み講義で出された問題を考える
23	ハンナ・アレント（2） 『人間の条件』を読む：活動的生活	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
24	ハンナ・アレント（3） 『人間の条件』を読む：労働と仕事	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
25	ハンナ・アレント（4） 『人間の条件』を読む：生命と政治	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
26	考える女性たち、その4 エディット・シュタイン（1）人と思想	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
27	エディット・シュタイン（2） 女性教育と女性の可能性	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
28	女性であることの可能性と、弱さ・受動性・従順等の概念の再考	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
29	女性であることの可能性と、働くこと・住むこと・生むことについての再考	講義、討論	配布資料を読み講義で出された問題を考える
30	まとめ：共生社会に向かって	講義、課題提出	配布資料を読み講義で出された問題を考える

テキスト	聖書（新共同訳を持っている者はそれを使用する。新約聖書のみを持っている者に対しては当該箇所のみ旧約部分を配布する）、授業時に配布するプリント
参考書	I. イリイチ『ジェンダー 女と男の世界』（岩波現代選書）、シモーヌ・ヴェイユ『根をもつこと』（岩波文庫）、ハンナ・アレント『人間の条件』（ちくま学芸文庫）

科目名	REL200: 宗教学					担当教員	小林 宏子
開講期	春／秋	開講時限	(春)月木1限 (秋)月木3限	研究室	4204	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	キリスト教、聖書、契約、創造、神の似姿、自由、罪と赦し、隣人愛、苦難の意味						
授業の概要	聖書の創世記から福音書までを概観し、キリスト教における救いの概念を理解するために不可欠となる用語とその背景を学ぶ。また、聖書に登場する代表的人物を取り上げ、聖書が描く人間の本質と、人間とかかわり続ける神の愛を考察する。更に、キリスト教が説く「死を越えるいのち」への希望の根拠についてイエスの言葉と行いに関する学びを通して理解する。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 キリスト教文化圏において常識的に使われる用語の中で、聖書に起源を持つ語句に関する一般的理解と聖書本来の意味の違いを学び、聖書思想を理解するための基本的知識を持つことができる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①聖書やキリスト教に特徴的な用語の意味と内容を理解することができる ②聖書を読む場合には字面だけでなく、その成立過程や文化背景、信仰者である著者や編集者の意図を探りながら読む必要があることを理解すると同時に、日本人の宗教観の理解に役立てることができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時の積極的参加（32%）、単語テスト（2%×14回＝28%）、中間試験（15%）、期末試験（25%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 授業時の積極的参加：毎回の授業内容を正しく把握し、聖書に特異な概念を理解した上でコメントシートに自分の意見を表現できること。 単語テスト：聖書やキリスト教に起源を持つ英単語の意味を知っていること。 中間試験：聖書思想の特徴的な用語の意味を理解していること。 期末試験：授業の聖書解釈を踏まえ、新約聖書における有名なたとえ話等の意味を理解していること。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	講義の概要説明と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換 コメントシート	テキスト pp.10-30
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.31-17 創世記 1 章を読む
3	創世記 2 章 人間の創造	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.38-39 創世記 2 章を読む
4	創世記 3 章 禁断の実と人間の罪	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.40-41 創世記 3 章を読む
5	創世記 4 章 カインとアベルの物語	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.42-43, p.68 創世記 4 章を読む
6	創世記 6-9 章 ノアの洪水物語	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.44-47 創世記 6-9 章を読む
7	創世記 11 章 バベルの塔の物語	聖書講読、DVD 視聴 コメントシート	テキスト pp.48-49 創世記 11 章を読む
8	創世記 12 章 アブラムの召命	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.50-55 創世記 12 章を読む
9	創世記 15、17 章 契約の思想	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.56-59 創世記 15 章、17 章を読む

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	創世記 18、21 章 信仰の試練	聖書講読、DVD 視聴 単語テスト	テキスト pp.60-67 創世記 18 章、21 章を読む
11	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.69-79 出エジプト記 1-3 章を読む
12	出エジプト記 12 章 過越祭	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.80-84, 94 出エジプト記 12、24 章を読む
13	出エジプト記 20 章 十戒	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.86-93 出エジプト記 20 章を読む
14	サムエル記 8 章 士師記 9 章 士師と王の使命	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.96-111, 117-127 サムエル記 8 章を読む
15	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力	聖書講読、意見交換 コメントシート	テキスト pp.116, 122-140 列王記上 21 章を読む
16	アモス 8 章 預言者の社会批判	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.141-161 アモス書 8 章を読む
17	イザヤ書 52 章 13 節－53 章 バビロン捕囚と預言者の苦しみ	聖書講読、DVD 視聴 コメントシート	テキスト pp.162-175 イザヤ書 52:13-53 を読む
18	エルサレムへの帰還、 メシアニズムの成長	聖書講読、 単語テスト	テキスト pp.176-201 イザヤ 9 章、11 章を読む
19	新約聖書、イエスが活躍した社会 中間試験	聖書講読	マルコ 1 章を読む
20	ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	聖書講読、 単語テスト	マタイ 20 : 1-16 ルカ 18 : 9-14 を読む
21	奇跡物語、罪の赦し	聖書講読、意見交換 コメントシート	マタイ 8 : 23-9 : 13 を読む
22	天使と悪魔	聖書講読、DVD 視聴 単語テスト	配布プリントを読む
23	慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ	聖書講読、意見交換 コメントシート	ルカ 15 章 1-32 を読む
24	山上の説教	聖書講読、 単語テスト	マタイ 5 章、6 : 25-34 7 : 1-12 を読む
25	隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	聖書講読、意見交換 コメントシート	マタイ 19 : 16-30 ルカ 10 : 25-37 を読む
26	主の祈り	聖書講読、 単語テスト	マタイ 6 : 1-15 マタイ 25 章 31-46 を読む
27	最後の晩餐	聖書講読、意見交換 コメントシート	マタイ 26 : 1-56 を読む
28	復活から見た十字架死の意味	聖書講読、 単語テスト	マタイ 26 : 57-28 : 20 ヨハネ 19 : 25-27 を読む
29	復活から見た十字架死の意味 期末試験	聖書講読	ヨハネ 20 : 19-29 ルカ 24 : 13-53 を読む
30	キリスト教の成立、聖母マリアについて	聖書講読、 単語テスト	ルカ 1 : 26-2 : 58 講義全体の復習とまとめ

テキスト	雨宮慧『図解雑学 旧約聖書』（ナツメ社） 『新約聖書』（大学から配布されるもの）
参考書	オリエンズ宗教研究所編『聖書入門』（オリエンズ宗教研究所） 百瀬文晃『キリスト教の原点』（教友社）
その他 特記事項	人生や宗教について真面目に考える姿勢を持っていること。

科目名	MUS200: 音楽				担当教員	北村 さおり	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	歌唱実技、呼吸、発声、発音、朗読、西洋音楽史、音楽鑑賞						
授業の概要	「朗読」「群読」「合唱」を通して、詩人、作曲家、演奏者の多様な解釈を探り、自己表現の方法と、他者との解釈の共有を体験する。西洋音楽史を時代様式や歴史的背景の知識を深めながら学ぶ。授業のまとめや用語を辞書で調べてくるなどの宿題を課する。試験では自筆ノートの持ち込みのみを許可する。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 中世からロマン派までの音楽史の推移を理解し、芸術について考察する。 朗読劇上演と合唱演奏を通して聴衆を含む他者との価値観の共有体験をめざす。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 美しい声、読み方、姿勢、発音、表情を習得することができる。クリスマス会にむけて、皆で声を合わせて歌う喜びを知ることができる。音楽史を理解し作品の解釈を試みることにより、自己と芸術との関わりを考え、自己表現の幅を広げることができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 課題提出 2%×20回＝40%、朗読発表 5%、授業内試験 20%、実技への積極参加と取り組み状況の評価 35% 【評価基準 <i>Criteria</i>】 課題提出：前回の授業のまとめができていないか、課題として出された予習ができていないか評価する。 朗読発表：一人ずつ発表し、発声、発音、姿勢、取り組み態度を評価する。 授業内試験：音楽史の理解度を筆記試験で評価する。 実技への積極参加と取り組み状況の評価：歌唱力や朗読技術の評価ではない。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	講義の概要説明、呼吸法、姿勢 校歌（斉唱）	講義、実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
2	復習とエクササイズ、発音、発声、 学生歌「英知の丘に」	講義、実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
3	復習とエクササイズ、しゃべり方、朗 読、学生歌「緑の丘」	講義、実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
4	復習とエクササイズ 学生歌の歌詞解釈、朗読練習	講義、実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
5	復習とエクササイズ 朗読課題の発表	講義、実技、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
6	中世：グレゴリオ聖歌の鑑賞と歌唱 ルネサンス：教会音楽等	講義、鑑賞、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
7	バロック前期：オペラ、器楽曲等 カッチーニ「アマリッリ」歌唱	講義、鑑賞、 ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
8	バロック後期：ヘンデル、バッハ	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
9	古典：ハイドン、モーツァルト	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
10	古典：ベートーヴェン	講義、鑑賞、 ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	前期ロマン派：シューベルトの歌曲「野ばら」等歌唱と解釈	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
12	前期ロマン派：シューマンの歌曲とピアノ作品等	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
13	後期ロマン派：ブラームス、マーラー、R.シュトラウス等。歌曲、ドイツオペラ	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
14	音楽史のまとめ。授業内試験。	講義、試験	ノートの整理 予習・復習課題
15	日本の歌：山田耕筰「からたちの花」「赤とんぼ」歌唱と解釈	講義、鑑賞、ノート記入	ノート・楽譜の整理 予習・復習課題
16	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
17	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
18	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
19	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
20	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
21	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
22	クリスマス会の練習 朗読、合唱	実技	歌唱、朗読の予習・復習
23	イタリアオペラ：ヴェルディ	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
24	オペラ DVD 鑑賞：プッチーニ「ラ・ボエーム」全曲（前半）	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
25	オペラ DVD 鑑賞：プッチーニ「ラ・ボエーム」全曲（後半）	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
26	バレエ DVD 鑑賞：チャイコフスキー「白鳥の湖」全幕（前半）	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 予習・復習課題
27	バレエ DVD 鑑賞：チャイコフスキー「白鳥の湖」全幕（後半）	講義、鑑賞、ノート記入	ノートの整理 復習課題
28	授業内試験	講義・試験	試験の準備
29	DVD 鑑賞：コンサートや音楽祭など	講義・鑑賞 ノート記入	ノートの整理
30	総括	講義	ノートの整理

テキスト	楽譜、朗読用テキスト、音楽史年表、音楽史、西洋史、鑑賞資料はプリントを配布する。
参考書	岡田暁生『西洋音楽史―「クラシック」の黄昏』（中公新書）、岡田暁生『CD&DVD51で語る西洋音楽史』（新書館）、岡田暁生『西洋音楽史』（放送大学教材）
その他 特記事項	専門的音楽知識は必要としない。学内で行われるクリスマス会での発表に参加を前提とする。ピアニストとして実技に参加することも歓迎する。

科目名	SOC200: 社会学					担当教員	柄内 睦也
開講期	春／秋	開講時限	(春)月木3限 (秋)月木4限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	「社会」、「近代社会」、社会学的想像力、構造と主体、包摂と排除						
授業の概要	社会学の基本的な学史、理論、概念、方法について学ぶ。そのことに加えて、社会学の諸領域や主要なテーマにも幅広く触れ、具体的な社会現象や今日的な社会問題を検討しながら社会学的な視点の所在について学ぶ。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 本科目の目的は、社会学という学問に対する理解を深め、社会学的なものの見方や考え方ができるようになることである。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 1. 社会学の基本的な学史、理論、概念、方法を正確ないしは適切に理解し、説明することができるようになる。2. 社会学の諸領域や主要なテーマがいかなるものであるか理解することができるようになる。3. 具体的な社会現象や今日的な社会問題と社会学の理論や概念との関連性を理解することができるようになる。4. 問題関心のあるテーマを設定し、それを社会学的に考察し、自分自身の考えを提示することができるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 1. 授業ごとに課すリアクションペーパー（1回目と15回目を除く28回分、56%）、 2. 中間試験（10%）、3. 期末課題レポート（図表含む2,400字以上、34%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 1. リアクションペーパー：毎回の授業内容の理解度（授業内容に対して適切な感想やコメントを寄せているかどうか、あるいは理解できなかった点を整理して質問を寄せているかどうか）、2. 中間試験：設問に対して正確な解答をし、それまでに学んだ内容を理解できているかどうか、3. 期末課題レポート：問題関心のあるテーマを設定したうえで、それを社会学の理論や概念、方法を適切に用いながら考察し、自分自身の考えを提示できているかどうか。また、その際に、適切な参考文献を参照したり、適切なデータを用いるなどしながら、より客観的で説得的な論述を行っているかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	社会学を学ぶために①—授業の進め方、文献リストの配付と文献の読み方	講義・質疑応答	問題意識を持って臨む、配付プリントの整理
2	社会学を学ぶために②—〈社会学的想像力〉とは何か	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
3	社会学の誕生と初期社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
4	エミール・デュルケームの社会学—方法論的社会主义	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
5	マックス・ウェーバーの社会学—方法論的個人主義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
6	ゲオルグ・ジンメル of 社会学—方法論的関係主義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
7	機能主義社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
8	意味学派社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
9	地域をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	労働をめぐる社会学①	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
11	労働をめぐる社会学②—映像を通して学ぶ今日的な労働のリアリティ	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
12	ジェンダーをめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
13	家族をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
14	社会運動の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
15	中間的まとめ（30分）・中間試験（60分）	講義・質疑応答・記述式試験	14回目までの授業内容の復習
16	「つながり」をめぐる社会学—コミュニティとソーシャル・キャピタル	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
17	国際社会とエスニシティの社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
18	メディアをめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
19	社会病理と逸脱の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
20	階級・階層をめぐる社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
21	記憶の社会学（70分）・中間試験結果の返却と解説（20分）	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
22	関係・距離・空間の社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
23	社会的な不平等・格差・貧困をめぐる社会学①—「貧困」の概念化	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
24	社会的な不平等・格差・貧困をめぐる社会学②—貧困の現存	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
25	社会的な不平等・格差・貧困をめぐる社会学③—「社会的な不平等」の指標と現在	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
26	社会的な不平等・格差・貧困をめぐる社会学④—「格差社会」の諸相	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
27	社会調査について①—意味と意義	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
28	社会調査について②—種類と事例	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
29	現代社会の諸相と新しい社会学の潮流	講義・質疑応答・リアクションペーパー	参考書関連箇所の一読、配付プリントの整理
30	総括—近代と脱近代、〈時代の診断学〉としての社会学	講義・質疑応答・リアクションペーパー	全授業内容の復習、期末課題レポートの提出

テキスト	特に指定しない。毎回、主として下に挙げた参考書に基づいて作成した授業用プリント（B4、2枚～3枚程度、その他の参考文献がある場合にはその都度明記）を配付する。
参考書	宇都宮京子編『よくわかる社会学（第2版）』（ミネルヴァ書房） 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』（有斐閣）
その他 特記事項	授業初回時に入門者向け文献リストと文献の読み方ガイドを配付する。それらと上に挙げた参考書を参考にしながら、授業用プリントと組み合わせて主体的に学んでほしい。

科目名	LAW210: 日本国憲法					担当教員	萩原 伸介
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	憲法、法制度、人権、法の下での平等、死刑制度、平和主義、統治機構、憲法改正						
授業の概要	社会のなかにある様々な具体的な事例を取り上げ、日本国憲法と関連づけながら諸原理を概観します。まず、「憲法」、「人権」、「民主政治」のあり方を理解し、そのうえで、具体的問題の分析へ、授業は進みます。問題が発生した時、憲法とどのように関連するか自ら分析できるよう導きます。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 リーガルマインドを備えた社会人として活躍するために、日本国憲法を理解することにより、社会で生起する問題を、理論的に分析し解決策を示せるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 わが国の法制度、日本国憲法の成立過程、基本原理、人権のとらえ方、平等の原理、各種人権や統治機構について理解し説明することができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業毎のリアクションペーパー（30%）、中間課題（1,200字程度のレポート・20%）、期末課題（1,200字程度のレポート 2通・40%）、学期終了時に提出する「復習ノート」（10%）。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：講義内容をふまえた記述になっているか。 中間課題：設題の趣旨を理解した記述になっているか。 期末課題：設題の趣旨を理解し、関連する事例を調べ、論じる記述になっているか。 復習ノート：講義の内容を想起できるノートテイクができているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業進行・評価の説明 ——「憲法の意義」	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【復習】復習ノート作成
2	わが国の法制度と憲法 ——憲法規範の特質	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
3	大日本帝国憲法 ——比較対象としての大日本帝国憲法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
4	日本国憲法の制定過程 ——歴史的事実を知る	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
5	日本国憲法の基本原理 ——基本的人権の尊重の意義	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
6	人権総論 ——そもそも「人権」とは	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】配布プリントの熟読 【復習】復習ノート作成
7	子どもの人権 ——制限だらけの子どもたち	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 1 の熟読 【復習】復習ノート作成
8	外国人の権利 ——基本的人権は誰のもの？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 2 の熟読 【復習】復習ノート作成
9	プライバシー権 ——ない！条文のどこにも	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 3 の熟読 【復習】復習ノート作成
10	自己決定権 ——毎日が自己決定	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 4 の熟読 【復習】復習ノート作成
11	法の下での平等（1） ——男と女	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 5 の熟読 【復習】復習ノート作成

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12	法の下での平等（2） ——むかし、尊属殺人罪ありき	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 6 の熟読 【復習】復習ノート作成
13	第 1 回から 12 回までの確認と中間課題準備——前半小括	講義・質疑応答・作成指導・リアクションペーパー	【準備】復習ノートの整理 【復習】復習ノートの再整理
14	中間課題作成（60 分） 講評・振り返り（30 分）	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備 【復習】前半小括の再整理
15	信教の自由 ——新興宗教と信教の自由	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 7 の熟読 【復習】復習ノート作成
16	表現の自由（1） ——性表現の自由	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 8 の熟読 【復習】復習ノート作成
17	表現の自由（2） ——犯罪教科書	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 9 の熟読 【復習】復習ノート作成
18	営業の自由 ——銭湯に自由を	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 10 の熟読 【復習】復習ノート作成
19	生存権 ——エアコンのない生活	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 11 の熟読 【復習】復習ノート作成
20	教育を受ける権利 ——教育内容は誰が決めるの？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 12 の熟読 【復習】復習ノート作成
21	死刑制度 ——どこまでも平行線？	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 13 の熟読 【復習】復習ノート作成
22	平和主義 ——人権の条件としての平和	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 15 の熟読 【復習】復習ノート作成
23	国会 ——国会議員はどんな人	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 17 の熟読 【復習】復習ノート作成
24	内閣 ——政権交代	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 18 の熟読 【復習】復習ノート作成
25	裁判所 ——黒衣の天使は裁判官	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 19 の熟読 【復習】復習ノート作成
26	司法審査制 ——裁判所の診療科目と方針	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 20 の熟読 【復習】復習ノート作成
27	地方自治 ——民主主義の学校	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 21 の熟読 【復習】復習ノート作成
28	改憲の可能性 ——金婚式を過ぎて	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】教科書 Thema 22 の熟読 【復習】復習ノート作成
29	期末課題作成【1】（60 分） 講評・振り返り（30 分）	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備 【復習】復習ノートの再整理
30	期末課題作成【2】（60 分） 講評・振り返り（30 分）	時間内課題作成 質疑応答・講評	【準備】課題作成準備 ※「復習ノート」の提出

テキスト	初宿正典 ほか著『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣・アルマ）
参考書	佐藤功著『日本国憲法概説』（日本評論社） 芦部信喜『憲法』（岩波書店）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	LAW200: 法学				担当教員	萩原 伸介	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	法律、法学、憲法、刑法、民法						
授業の概要	人間社会が形成されれば、そこには必ずその社会を規律する「法」秩序が形成・維持され、否応なく人々はそれに拘束されている。法「学」は、社会で機能するその「法秩序」の役割を分析・評価し、より良い社会を築くために努力する、人間の営為の集積である。本講義は、社会の一員として要請されている、法的な知識や、ものの考え方を修得できるように導きます。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 リーガルマインドを備えた社会人として活躍するために、法律学の知識を体系的に理解し、社会で生起する問題を、理論的に分析し解決策を示せるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 わが国の、法学の基礎概念をふまえ、具体的な諸法の知識を正確に理解し、説明することができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業毎のリアクションペーパー（30%）、授業内試験①（1,200 字程度記述式・20%）、授業内試験②（選択式と記述式・50%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：講義内容をふまえた記述になっているか。 授業内試験①：設題の趣旨を理解した記述になっているか。 授業内試験②：法学の基礎概念や具体的諸法の知識が修得されているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業進行・評価の説明 —法「学」の意義	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【復習】テキスト目次の確認
2	法とは何か（その1） —法と社会生活・法と道徳	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト7-17頁熟読 【復習】復習ノート作成
3	法とは何か（その2） —法と強制・法の目的・権利と義務	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト17-32頁熟読 【復習】復習ノート作成
4	法の適用（その1） —法と裁判	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト33-48頁熟読 【復習】復習ノート作成
5	法の適用（その2） —裁判の基準となるもの	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト49-65頁熟読 【復習】復習ノート作成
6	法の適用（その3） —法の解釈	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト61-81頁熟読 【復習】復習ノート作成
7	国家と法（その1） —国家と憲法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト94-98頁熟読 【復習】復習ノート作成
8	国家と法（その2） —日本国憲法の基本原理①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト98-102頁熟読 【復習】復習ノート作成
9	国家と法（その3） —日本国憲法の基本原理②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト102-104頁熟読 【復習】復習ノート作成
10	国家と法（その4） —日本国憲法の基本原理③	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト104-106頁熟読 【復習】復習ノート作成
11	国家と法（その5） —日本国憲法の基本原理④	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト106-109頁熟読 【復習】復習ノート作成

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12	犯罪と法（その1） —犯罪と刑法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 11-112 頁熟読 【復習】復習ノート作成
13	犯罪と法（その2） —刑法の機能	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 112-114 頁熟読 【復習】復習ノート作成
14	犯罪と法（その3） —犯罪の成立要件①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 114-116 頁熟読 【復習】復習ノート作成
15	授業内試験①（60分） 試験出題の趣旨の解説（30分）	試験・講義・質疑応答・ リアクションペーパー	【準備】試験準備 【復習】復習ノート作成
16	犯罪と法（その4） —犯罪の成立要件②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 116-120 頁熟読 【復習】復習ノート作成
17	犯罪と法（その5） —刑事手続①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 121-123 頁熟読 【復習】復習ノート作成
18	犯罪と法（その6） —刑事手続②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 123-127 頁熟読 【復習】復習ノート作成
19	財産関係と法（その1） —財産法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 141-142 頁熟読 【復習】復習ノート作成
20	財産関係と法（その2） —取引の主体	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 143-145 頁熟読 【復習】復習ノート作成
21	財産関係と法（その3） —取引の客体	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 146-148 頁熟読 【復習】復習ノート作成
22	財産関係と法（その4） —取引の手段としての契約①	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 148-150 頁熟読 【復習】復習ノート作成
23	財産関係と法（その5） —取引の手段としての契約②	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 150-152 頁熟読 【復習】復習ノート作成
24	財産関係と法（その6） —取引の手段としての契約③	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 152-155 頁熟読 【復習】復習ノート作成
25	財産関係と法（その7） —不法行為による損害賠償請求	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 155-156 頁熟読 【復習】復習ノート作成
26	家族関係と法（その1） —家族法	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 128-130 頁熟読 【復習】復習ノート作成
27	家族関係と法（その2） —婚姻と離婚・親子	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 130-137 頁熟読 【復習】復習ノート作成
28	家族関係と法（その3） —扶養・相続	講義・質疑応答 リアクションペーパー	【準備】テキスト 137-140 頁熟読 【復習】復習ノート作成
29	授業内試験②（60分） 試験出題の趣旨の解説（30分）	試験・講義・質疑応答・ リアクションペーパー	【準備】試験準備 【復習】復習ノート作成
30	授業内試験の講評と解説 —法学の基礎概念と知識の修得を確認—	講評・講義・質疑応 答	【復習】テキストの通読

テキスト	伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣） 編集代表：井上正仁・山下友信『ポケット六法・平成29年版』（有斐閣）
参考書	松本恒雄ら編『日本法への招待』（有斐閣）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どん どん質問してもらいたい。

科目名	EDU200: 教育学				担当教員	栗原 麗羅	
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	教育原理、教育問題、諸外国の教育、多文化教育						
授業の概要	思想的、歴史的、社会学的なアプローチから「教育・学校とは何か」という問いに取り組むとともに、教育学の基礎理論を学ぶ。さらに、国内外における学校教育や多文化教育に関わる課題を取り上げ、多文化共生社会を迎える現代の教育に関する理解を深める。また、授業毎のグループディスカッションと、各自が関心のある教育事象に関するブックレポートの作成およびプレゼンテーションを行う。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 教育の概念や教育問題についての考察および議論を行うことで、教育学に関する知識を深める。また、教育事象に関して参考文献を用いて論理的、批判的に分析し、その結果を文章および口頭で発表する能力を身に付けることを目的とする。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①教育に関する自身の考えを論述したリアクションペーパーを作成することで、授業およびグループディスカッションでの学びを省察できる。 ②自身が関心を持つ教育事象に関して、多様な視点から比較考察を行い、ブックレポートおよびプレゼンテーションの形で発表できる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時の積極参加（15%）、リアクションペーパー（15%）、ブックレポート（35%）、プレゼンテーション（35%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：授業内容に関する問いの答えを、予習、授業およびグループディスカッションで学んだ点を基に、自身の言葉で述べることができたか。 ブックレポート：所定の書式、形式、期限を守っているか。文献の要点をおさえた要約を作成することができたか。著者の主張に対する賛否およびその理由を、自身の立場・意見を踏まえて論述することができたか。 プレゼンテーション：教育学に関する研究課題を設定し、複数の文献を基に比較考察を行った結果を、所定の形式でレジュメにまとめることができたか。 聞き取りやすい声の大きさ・速さで、発表時間を守った口頭発表ができたか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	教育とは何か（1） －人間の進化と学習・教育能力－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.iii～vi、pp.1-17 を読んでくる
2	教育とは何か（2） －発達への助成的介入としての教育－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.17-37 を読んでくる
3	学校とは何か（1） －学校の成り立ち－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.39-55 を読んでくる
4	学校とは何か（2） －日本の中世・近代の学校－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.57-77 を読んでくる
5	学校とは何か（3） －戦後教育改革と教育爆発－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.78-86 を読んでくる
6	学校とは何か（4） －海外の学校制度－	講義、グループディスカッション	配布プリントを読んでくる
7	学力とは何か －国際的な学力調査の導入－	講義、グループディスカッション	テキスト pp.87-99 を読んでくる
8	道徳教育の変化	講義、グループディスカッション	テキスト pp.99-115 を読んでくる

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	シティズンシップ教育	講義、グループディスカッション	配布プリントを読んでもくる
10	学校教育の構想と授業改革	講義、グループディスカッション	テキスト pp.117-132 を読んでもくる
11	教育評価の機能と種類	講義、グループディスカッション	テキスト pp.133-148 を読んでもくる
12	授業をつくる ー様々な授業実践ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.151-168 を読んでもくる
13	学校をつくる ー新しい学校をつくる教育運動ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.168-173 を読んでもくる
14	教師の仕事 (1) ー教師の役割ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.177-188 を読んでもくる
15	教師の仕事 (2) ー教師の素質と能力ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.188-201 を読む ブックレポートの提出
16	青年期と教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.203-217 を読んでもくる
17	社会教育と生涯学習	講義、グループディスカッション	テキスト pp.219-232 を読んでもくる
18	教育への権利と「子どもの権利条約」	講義、グループディスカッション	テキスト pp.233-247 を読んでもくる
19	子どもの権利思想の発展 (1) ーコメニウス・ロッカー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.249-254、 配布プリントを読んでもくる
20	子どもの権利思想の発展 (2) ールソーー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.249-254、 配布プリントを読んでもくる
21	子どもの権利思想の発展 (3) ーペスタロッツ・フレーベルー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.249-254、 配布プリントを読んでもくる
22	学校教育の課題 (1) ー体罰、いじめと不登校ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.254-258、 配布プリントを読んでもくる
23	学校教育の課題 (2) ー生活指導と教育相談ー	講義、グループディスカッション	配布プリントを読んでもくる
24	学校教育の課題 (3) ー特別支援教育ー	講義、グループディスカッション	テキスト pp.258-261、 配布プリントを読んでもくる
25	学校教育の課題 (4) ーグローバル化と教育開発ー	講義、グループディスカッション	配布プリントを読んでもくる
26	日本における多文化教育	講義、グループディスカッション	テキスト pp.261-262、 配布プリントを読んでもくる
27	海外における多文化教育	講義、学生発表（プレゼンテーション）	配布プリントを読んでもくる
28	社会の変化と教育政策の動向 (1) ー教育基本法の改正ー	講義、学生発表（プレゼンテーション）	テキスト pp.262-270、 配布プリントを読んでもくる
29	社会の変化と教育政策の動向 (2) ー学習指導要領の改正ー	講義、学生発表（プレゼンテーション）	配布プリントを読んでもくる
30	授業のまとめと振り返り	講義、質疑応答	授業内容の復習を行う

テキスト	田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二『やさしい教育原理 新版補訂版』（有斐閣アルマ）
参考書	木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』（有斐閣）

科目名	EDU200: 教育学					担当教員	杉村 美佳
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	発達と教育、教育思想、教育史、教育問題、教育改革、グローバル化と教育						
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的、国際的なアプローチから探究することを通して、教育学の基礎理論を学ぶ。さらに、いじめや不登校、外国籍児童の教育など現代の学校教育を取り巻く諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、課題解決の方途を探る。最後に各自が関心のある教育事象を取り上げてレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的、国際的視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ①教育学の諸分野や基礎理論についての確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレジュメの作成やプレゼンテーションを通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時に課すリアクションペーパー（30%）、授業内試験（30%）、レジュメ・プレゼンテーション（40%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：論題について授業内容を踏まえて論理的に考察できているか。 授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 レジュメ：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。 プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、わかりやすく伝える工夫をしているかによって評価をする。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	教育学とは—教育学の諸分野—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.38-41の一読 配布プリントの復習
2	教育の目的とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.45-49の一読 配布プリントの復習
3	人間の発達と教育（1）幼児期	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.41-45の一読 配布プリントの復習
4	人間の発達と教育（2）児童期	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.27-31の一読 配布プリントの復習
5	人間の発達と教育（3）青年期	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.6-12の一読 配布プリントの復習
6	道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.120-125の一読 配布プリントの復習
7	子ども観・教育観の変遷（1）コメニウス・ロック	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.77-80の一読 配布プリントの復習
8	子ども観・教育観の変遷（2）ルソー	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.81-84の一読 配布プリントの復習
9	子ども観・教育観の変遷（3）デューイ	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.85-87の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	幼児教育の思想—フレーベル・モンテッソーリ—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	参考書①pp.87-88 の一読 配布プリントの復習
11	明治期の教育（1）—欧米教育情報の受容と近代学校の誕生—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	参考書①pp.63-65 の一読 配布プリント復習
12	明治期の教育（2）—義務教育制度の成立—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.66-68 の一読 配布プリントの復習
13	大正期の教育—大正新教育運動の展開—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.69-70 の一読 配布プリントの復習
14	昭和期の教育—戦後の教育制度改革—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.70-72 の一読 配布プリントの復習
15	現代日本の教育改革—学歴主義社会の改革と生涯学習の推進—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.73-75 の一読 配布プリントの復習
16	世界の教育制度	講義・ディスカッション リアクションペーパー	諸外国の教育制度を調べる 配布プリントの復習
17	世界の自由教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	参考書①p.87 の一読 配布プリントの復習
18	教師論	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.90-95 の一読 配布プリントの復習
19	カリキュラム論	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.52-57 の一読 配布プリントの復習
20	教育方法論—教育方法の日米比較—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布プリントの一読と 復習
21	メディアと教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.9-11 の一読 配布プリントの復習
22	グローバル化と教育（1）外国につながる子どもと国際理解教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	参考書①pp.18-20 の一読 配布プリントの復習
23	グローバル化と教育（2）シティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	日本の市民教育を調べる 配布プリントの復習
24	小括・授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	24回目までの授業内容の復習
25	試験の解説・プレゼンテーションの準備	講義・グループワーク	プレゼンテーションの準備
26	学校教育の今日的課題（1）生きる力の育成と PISA 型学力	プレゼンテーション・ 討議・解説	プレゼンテーションの準備 配布レジュメの復習
27	学校教育の今日的課題（2）いじめ	プレゼンテーション・ 討議・解説	プレゼンテーションの準備 配布レジュメの復習
28	学校教育の今日的課題（3）不登校・学級崩壊	プレゼンテーション・ 討議・解説	プレゼンテーションの準備 配布レジュメの復習
29	学校教育の今日的課題（4）小学校の英語教育	プレゼンテーション・ 討議・解説	プレゼンテーションの準備 配布レジュメの復習
30	学校教育の今日的課題（5）特別支援教育	プレゼンテーション・ 討議・解説	プレゼンテーションの準備 配布レジュメの復習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと資料を配布する。
参考書	①内海崎貴子 編著『教職のための教育原理』（八千代出版） ②田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）

科目名	ECN200: 経済学				担当教員	白瀬 宗範	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	経済学、価格理論、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済学のための数学						
授業の概要	経済学の基礎を学びます。価格理論、ミクロ経済学、マクロ経済学といった各分野を概観し、その理解に必要な数学も学習します。新聞記事なども利用し、理論だけでなく、現実の経済問題への応用も取り入れます。数学や計算の小テストを数多く取り入れます。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 経済事象を論理的に理解し、他者に説明することができる。新聞やニュースなどで取り上げられる経済事象を価格理論、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎理論を用いて理解し、説明する。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・経済学の基礎理論及びそのための基礎的数学を理解する。 ・現実の経済問題を経済学の理論で理解できる。 ・日々の経済事象に興味を持ち、経済学の理論で説明できる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業内の各テストの合計 70%、授業参加 30%。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 総合テスト及び小テスト：設問に対し経済学の理論を使って説明できているか。 授業参加：単なる出席だけではなく、授業中に指名・質問するので、その応答を評価する。授業内容を理解し、その内容を説明できるか。また、学生同士の討論に積極的に参加しているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	ガイダンス、経済学の学び方、参考書紹介	講義、質疑応答	次回範囲の予習
2	経済学のための計算・数学①	講義、演習	練習問題あり
3	経済学が対象とする分野	講義、質疑応答	次回範囲の予習
4	ミクロ経済学／価格理論①需要と価格	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習（第1章）
5	ミクロ経済学／価格理論②供給と価格	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第2章）
6	ミクロ経済学／価格理論③各曲線のシフト	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第2章、第3章）
7	ミクロ経済学／価格理論④価格の決定	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第2章、第3章）
8	ミクロ経済学／価格理論⑤応用	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第2章、第3章）
9	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの回答をテキストで確認
10	経済学のための計算・数学②／①の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	ミクロ経済学／弾力性①弾力性とは	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第3章）
12	ミクロ経済学／弾力性②需給曲線と弾力性	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第3章）
13	ミクロ経済学／弾力性③弾力性の応用	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第3章）
14	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ①市場経済、貨幣	講義、質疑応答	授業内容をテキストで復習、予習（第5章）
15	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ②資源配分	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第5章）
16	ミクロ経済学／市場の失敗と政府の役割 ③所得分配	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第5章）
17	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの回答をテキストで確認
18	経済学のための計算・数学③／②の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題
19	マクロ経済学①GDP 入門	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第6章）
20	マクロ経済学②GDP の構成	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第6章）
21	マクロ経済学③財政政策	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第7章）
22	マクロ経済学④金融政策	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第7章）
23	マクロ経済学⑤為替レートの研究	講義、質疑応答	授業内容をテキストで予習・復習、予習（第7章）
24	これまでの復習と小テスト	講義、テスト演習	小テストの回答をテキストで確認
25	経済学のための計算・数学④／③の小テスト	講義、テスト演習	小テストの確認と練習問題
26	経済学の諸問題／途上国支援・DVD	DVD 視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
27	経済学の諸問題／日本経済①・DVD	DVD 視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
28	経済学の諸問題／日本経済②・DVD	DVD 視聴と質疑応答	テーマを各自整理、関連新聞記事など調べる
29	総合テストとこれまでの復讐	講義、テスト演習	理解度の確認
30	これまで学習した内容に関する質疑応答とディスカッション	講義・ディスカッション	ディスカッションの準備

テキスト	岩田規久男『経済学への招待』（新世社）
参考書	岩田規久男『経済学を学ぶ』（ちくま新書）

科目名	BUS200: 経営学				担当教員	白瀬 宗範	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	経営学、戦略論、組織論、マーケティング、財務分析						
授業の概要	経営学の基礎を学びます。企業理論の基礎から始まり、広範な経営学の理論を体系的に概観します。理論だけでなくケーススタディも重視し、映像や新聞記事などの各種コンテンツも活用します。経済学同様、数字やデータの取り扱いも重要であるため、経営学のための数学、統計学の基礎も学習する予定です。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 経営学の基礎理論を学習することで、企業活動を理論的に理解する。企業に関する諸事象を戦略論、組織論、マーケティング、会計学・財務分析の基礎理論を用いて理解し、他社に説明できるようになる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・経営学各分野の基礎理論及びそのための数学的基礎を理解する。 ・企業活動をケーススタディとして、理解を深める。 ・社会における企業の役割に興味を持ち、自分なりの企業観を育てる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 期末レポート 30%、授業内テスト 40%、授業参加 30%。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 ・期末レポート：設題について学習した内容を踏まえて論理的に論述できているか。また、参考文献リストの添付など、適切な書式で提出しているか。 ・授業内テスト：設問に対し経営学の理論を使って説明できているか。 ・授業参加：単なる出席だけではなく、授業中に指名・質問するので、その応答を評価する。授業内容を理解し、その内容を説明できるか。また、学生同士の討論に積極的に参加しているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	ガイダンス、経営学の学び方、参考書紹介	講義、質疑応答	次回範囲の予習
2	経営学の基礎①ビジネス記事の読み方	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
3	経営学の基礎②株式会社とは	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
4	経営学の基礎③日本的経営の実例	講義、質疑応答	プリントによる理解の確認
5	経営学のための数学①百分率と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
6	経営戦略論①ビジョンとは	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	経営戦略論②戦略とストーリー	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
8	経営戦略論③戦略実例	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	経営学のための数学②速度算と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
10	マーケティング①ターゲティング	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	マーケティング②マーケティング手法	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	マーケティング③マーケティングの実例	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	これまでの復習と中間テスト	講義、小テスト	模範解答と照合
14	経営組織論①モチベーション	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
15	経営組織論②リーダーシップ	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
16	経営組織論③チームワーク	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
17	経営学のための数学③損益算と経営学	講義、問題演習	練習問題あり
18	会計学&財務分析①財務諸表	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
19	会計学&財務分析②財務分析	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
20	会計学&財務分析③練習問題による演習	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習
21	経営学のための数学、小テストとこれまでの復習	講義、小テスト	模範解答と照合
22	これまでの復習と中間テスト	講義、小テスト	模範解答と照合
23	ケーススタディ①コンプライアンス	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
24	ケーススタディ②CSR	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
25	ケーススタディ③ディズニーランド	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
26	ケーススタディ④日本企業の歴史	DVD 視聴、講義	Web による講義内容の確認
27	レポート・プレゼンテーションと演習①	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
28	レポート・プレゼンテーションと演習②	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
29	レポート・プレゼンテーションと演習③	プレゼンテーションと質疑応答	プレゼンテーションの内容を Web で確認
30	総評とレポート提出	講義、質疑応答	各自の理解確認
テキスト	特に指定しません。適宜プリント（経営学各分野の基礎、関連記事、ケーススタディ等に関する資料）を配布します。		
参考書	榊原清則『経営学入門（上）（下）』（日経文庫）		

科目名	SWF200: 社会福祉入門					担当教員	栃本 一三郎, 寺田 誠
開講期	秋	開講時限	金 2・3 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	社会福祉の広がりや深さ、社会政策、主体としての社会福祉、客体としての社会福祉						
授業の概要	社会福祉入門では社会福祉についての基礎的理解のために入門的かつ刺激的な授業を行います。今までの福祉観が一変するでしょう。社会福祉とは何か、社会福祉の動向、社会福祉の法と行財政、社会福祉の供給体制についてはもちろんですが、企業や地域の福祉の最前線の議論、国の政策、また正確で確実な知識（の取得法）、幅広い関心、物事を深く理解するための訓練の場とするとともに、大手企業や大学進学、留学を目指す学生にとっても「必須の知識としての社会福祉」、「女性にとっても知っておくべき社会保障や社会福祉の知識」を教授します。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 従来の社会福祉教育で行われてきた狭義の社会福祉ではなく、①社会保障も視野においた広義の社会福祉について現状、制度、法律などについて基礎的知識を得るとともに②自分の言葉で説明できる。③新聞でとりあげられる内外の社会福祉や社会保障、社会問題の記事についてある程度専門的視点から読み解くことが出来るようにする。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 授業および教科書に書かれている事柄を自分で調べ、理解し、さらに人に説明できるようにする。また自分で考え、世間の理解とは異なる深い読み方が出来るようにする。学問としての社会福祉という視点を得られるようにする。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 ①毎週の新聞の切り抜きとコメント（20%）、②授業時の積極参加（15%）、③授業毎のリアクションペーパー（15%）、④期末課題（2,500 字以上レポート）（50%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 評価方法の割合に応じてそれぞれを評価し合計点とし、成績評価を行う。 ①毎週の新聞の切り抜きとコメント：新聞でとりあげられる内外の社会福祉や社会保障、社会問題についての記事を切り抜いて提出するとともにコメント（200 字以上）をつけるが、評価は提出回数とコメント内容の妥当性により判断し 4 段階評価。②授業時の積極参加：漫然と授業を受けるのではなく、テキストの予習と復習がきちんとなされているか授業中に学生に質問したり逆に質問を受け、またディスカッションを授業中におこなうが、それらを評価する。③授業毎のリアクションペーパー：自分なりにその日（回）の学習内容や重要なキーワード、概念は何だったかを確認しながら記述する。そのコメントの内容により理解度を見て評価する。なお、疑問点も書かせ次回の授業で解説する。④期末課題：期末課題について細説すると、授業で配付した資料や紹介した文献をもとに、自分が関心を寄せるテーマについて、講義やディスカッションで得た視点やアプローチを使いながら自分の考えをきちんと論じることが出来るかを判断し評価。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	イントロダクションー講義の進め方、テキストの読み方	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト序章
2	社会福祉とは何か①ー社会福祉と社会保障、社会福祉の基礎概念	講義、リアクションペーパー、新聞切抜き提出	テキスト第 1 章第 1 節 配付資料
3	社会福祉とは何か②ー日本における社会福祉の内容と展開、歴史的連続性	講義、リアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 2 節 配付資料
4	社会福祉をどう捉えるか①ー学問として	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第 1 章から 第 3 章までの熟読
5	社会福祉とは何か③ーソーシャルポリシー、ニーズの種類、社会福祉の資源	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 3-4 節 配付資料
6	社会福祉とは何か④ー現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義、シチズンシップ	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第 1 章第 4 節 配付資料
7	社会福祉の動向①ー少子高齢社会、人口減少社会、これからの人口推計	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第 2 章第 1 節 配付資料

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
8	社会福祉の動向②－在宅福祉、地域福祉、地域包括ケアシステム、NPO	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第2章第2－3節 配付資料
9	社会福祉をどう捉えるか②－実践者として	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第3章までの熟読
10	社会福祉をどう捉えるか③－広がり	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第3章までの熟読
11	社会福祉の動向③－社会福祉 8 法改正、社会福祉の基礎構造改革	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第2章第4－5節 配付資料
12	社会福祉の動向④－社会福祉の基礎構造改革、社会福祉法の改正	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第2章第4－5節 配付資料
13	社会福祉の法と行財政①－社会福祉の法制度、社会保障、社会福祉 6 法	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第3章第1節 配付資料
14	社会福祉の法と行財政②－昭和 25 年勸告、社会保障と社会福祉、社会保険	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第3章第2節 配付資料
15	社会福祉をどう捉えるか④－深さ	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第3章までの熟読
16	社会福祉をどう捉えるか⑤	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第3章までの熟読
17	社会福祉の法と行財政③－社会保障給付費、国民負担率、税と社会保障	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第3章第3－4節 配付資料
18	社会福祉の供給体制①－政府部門、民間非営利部門、民間営利部門、インフォーマル部門	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第4章第1－2節 配付資料
19	社会福祉の供給体制②－供給体制の変遷と今後、公私関係、政府間関係	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第4章第3－4節 配付資料
20	社会福祉専門職①－社会福祉の人材の概況、人材確保、感情労働	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第5章第1－2節 配付資料
21	社会福祉専門職②－社会福祉の国家資格、専門職と倫理、継続教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第5章第3－4節 配付資料
22	社会政策の重要性①－社会のデザイン	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第7章までの熟読
23	社会福祉援助技術－社会福祉援助技術を学ぶ視点、基本的要素	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第6章 配付資料
24	社会政策の重要性②－国のデザイン	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第7章までの熟読
25	利用者の視点からみたサービスの利用支援①－事業者の情報、第三者評価	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト第7章 配付資料
26	社会福祉の重要性③－社会福祉のデザイン	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第7章までの熟読
27	利用者の視点から見たサービスの利用支援②－苦情解決、権利擁護	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト第7章 配付資料
28	社会福祉の重要性④－現場のデザイン	講義 リアクションペーパー、新聞	テキスト序章、第1章から 第7章までの熟読
29	まとめ①－あたためてテキスト序章を読む	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト序章
30	まとめ②－新しい視点とは何か 期末課題提出	講義・ディスカッション リアクションペーパー、新聞	テキスト序章

テキスト	栃本一三郎編（2006）『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参考書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之『ウェルビーイング・タウン 社会福祉入門改訂版』（有斐閣アルマ）
その他 特記事項	* 栃本：1, 4, 9, 10, 15, 16, 22, 24, 26, 28, 29, 30 回（予定） 寺田：2, 3, 5, 6, 7, 8, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 23, 25, 27 回（予定）

科目名	JRN201: マスメディア論				担当教員	沈 霄虹	
開講期	春／秋	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	マスメディアの歴史、メディア理論、ジャーナリズム、メディアリテラシー、情報社会、東アジアのマスメディア						
授業の概要	現代社会は情報に溢れた社会、それも＜高度情報社会＞と言われている。一人一人に情報をもたらしてくれる流通経路がある。情報の流通経路というと、通常、テレビ、新聞などマスメディアを言うが、インターネットの普及によって、その影響力も軽視することができない。この講義は、マスメディアの歴史、理論をベースにし、現代情報社会の視点からマスメディアを考察する。						
達成目標および到達目標	【達成目標 Course goals】 マスメディア歴史、理論、現状を理解する上で、ニュースに能動的に接し、メディアリテラシーを高める。 【到達目標 Learning objectives】 この授業を通じて、メディア歴史や理論を学びながら、高度情報化社会の中で、情報、ニュースに対する正確な理解、批判能力を身につける。同時に日本だけではなく、中国、香港、台湾、シンガポールなどの東アジアのマスメディア状況、ニュース報道などについて、理解できるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 Categories】 ▶出席・リアクションペーパー（40%）、▶ワークショップ（20%）、▶課題レポート（15%）、▶期末のレポート（25%） 【評価基準 Criteria】 ▶出席・リアクションペーパー：毎回、講義の要点、自分の意見を分かりやすく説明することができているか。▶ワークショップ：①新聞記事の紹介、②テレビニュースを事例に議論、③SNS やブログを事例に議論、などの活動ができているか。▶課題レポート：講義で学んだ理論、概念を用いて、レポート（1,000 文字以上）を書くことができたか。▶期末のレポート：全体の授業を通じて、メディアに対して自分なりの感想、意見、提案を書くことができたか（2,000 文字以上）。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	オリエンテーション マスメディアとは何か	授業内容の紹介・講義、 リアクションペーパー	参考書の紹介
2	マスメディア論の系譜Ⅰ：メディア理論 の歴史と発展（欧米）①	講義・リアクション ペーパー	次回講義資料予習
3	マスメディア論の系譜Ⅰ：メディア理論 の歴史と発展（欧米）②	講義・リアクション ペーパー	次回講義資料予習
4	マスメディア論の系譜Ⅱ：メディア理論 の展開（日本）	講義・リアクション ペーパー	次回講義資料予習
5	活字メディア1：新聞	講義（資料配布）・リ アクションペーパー	次回講義資料予習
6	活字メディア2：雑誌	講義（資料配布）・リ アクションペーパー	次回講義資料予習
7	活字メディア3：新聞ジャーナリズム	講義・リアクション ペーパー	次回講義資料予習
8	活字メディア4：日本の現状（新聞・雑誌）	講義・リアクション ペーパー	ワークショップ準備
9	活字メディア5：東アジア諸国・地域（中 国・香港・シンガポール・台湾）の現状	講義・リアクション ペーパー	次回講義資料予習
10	ワークショップ1：新聞記事の紹介	ワークショップ・デ スカッション	次回講義資料予習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	電子メディア1：映画	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
12	電子メディア2：放送（ラジオ・テレビ）	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
13	電子メディア3：放送ジャーナリズム（テレビ）	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
14	電子メディア4：日本（映画、テレビ）	講義（写真、映像）・リアクションペーパー	ワークショップ準備
15	電子メディア5：東アジア諸国・地域の現状（中国・香港・シンガポール・台湾）の現状	講義（写真、映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
16	ワークショップ2：テレビニュースを事例に議論	ワークショップ・ディスカッション	次回講義資料予習
17	情報社会とインターネット1：メディアとしてのコンピュータ	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
18	情報社会とインターネット2：インターネットと社会	講義（映像）・リアクションペーパー	次回講義資料予習
19	情報社会とインターネット3：SNSの社会影響力	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
20	情報社会とインターネット4：日本の現状	講義・リアクションペーパー	ワークショップの準備
21	情報社会とインターネット5：東アジア諸国・地域（中国・香港・シンガポール・台湾）の現状	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
22	ワークショップ3：SNS、ブログを事例に議論	ワークショップ・ディスカッション	次回講義資料予習
23	個別テーマ1：メディアと政治	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
24	個別テーマ2：メディアと文化	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
25	個別テーマ3：メディアと社会	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
26	個別テーマ4：メディアリテラシー（欧米）	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
27	個別テーマ5：メディアリテラシー（日本）	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
28	マスメディア論の再考1：グローバルメディア論	講義・リアクションペーパー	課題レポートの提出
29	マスメディア論の再考2：発展途上国メディア論（制度・政策・産業）中国を事例に	講義・リアクションペーパー	次回講義資料予習
30	総括	講義・リアクションペーパー	最終レポートの準備

テキスト	指定テキストは使用せず、授業内容に関するプリントおよび関連資料を配布する。
参考書	吉見俊哉『メディア文化論』（有斐閣アルマ） 吉見俊哉・水越伸『メディア論』（放送大学教育振興会） 田崎篤郎・児島和人『マス・コミュニケーション効果研究の展開』（北樹出版）
その他 特記事項	関心を持って、常に新聞を読むことと、テレビニュースを見ること。

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習					担当教員	森本 貴之
開講期	春	開講時限	火2限 火3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	コンピューター、情報リテラシー、情報処理、Word、Excel、PowerPoint						
授業の概要	コンピューターを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。また、ネット上におけるモラルやセキュリティをはじめとする、知っておくべき情報リテラシーについて学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 大学生そして社会人として要求されるコンピューターを利用した情報処理の基本を身につけることができる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・情報分野における基本的かつ汎用的なリテラシーを習得する。 ・ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践する。 ・文書作成、データ処理、プレゼンテーションのためのソフトウェアの基本操作を習得する。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業ごとの演習課題 55%、各単元末の総合課題 45%（内訳：Word を使用したレポート作成 15%、Excel を使用したデータ処理 15%、PowerPoint を使用したプレゼンテーションの実演 15%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 授業ごとの演習課題：その日の授業内容がどれだけ理解できているか。 レポート作成：必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられるかどうか。 データ処理：様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか。 プレゼンテーションの実演：集めた情報を基に発表のための資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	PC (Windows) の基本操作	PC 実習、解説	PC アカウントの準備
2	Word による文書作成 (1) Word の基本操作、基本的な文書の作成	PC 実習、解説	PC の基本操作の再確認
3	Word による文書作成 (2) 文書の編集、書式設定等	PC 実習、解説	前回課題の作成
4	Word による文書作成 (3) 表の作成・編集、図の挿入等	PC 実習、解説	前回課題の作成
5	Word による文書作成 (4) 英語文書の作成、総合演習	PC 実習、解説	前回課題の作成
6	Excel による表計算 (1) Excel の基本操作、表の作成・編集	PC 実習、解説	前回課題の作成
7	Excel による表計算 (2) 関数の利用等	PC 実習、解説	前回課題の作成
8	Excel による表計算 (3) データ処理と統計処理	PC 実習、解説	前回課題の作成
9	Excel による表計算 (4) グラフの作成	PC 実習、解説	前回課題の作成
10	Excel による表計算 (5) 条件付き書式等、総合演習	PC 実習、解説	前回課題の作成

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成 (1)	PC 実習、解説	前回課題の作成
12	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成 (2)	PC 実習、解説	前回課題の作成
13	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成 (3)	PC 実習、解説	前回課題の作成
14	PowerPoint によるプレゼンテーションの実演 (1)	発表、相互評価	プレゼンテーション資料の作成および発表の準備
15	PowerPoint によるプレゼンテーションの実演 (2)	発表、相互評価	プレゼンテーション資料の作成および発表の準備
テキスト	資料を配布する。		
参考書	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）		

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習					担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	火3限 金3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	情報処理、情報リテラシー、Office、Word、Excel、PowerPoint、Html						
授業の概要	大学生として必要最低限のコンピュータスキルを身につけるための演習であり、PC ルームで実際にパソコンを動かしながら PC の基本的な操作と情報リテラシーを学ぶ。具体的にはパソコンの基本（主にタイピング）、Word, Excel, PowerPoint の基本的な操作、Html の学習を通じてインターネットの仕組みを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 ① タッチタイピングを身につける。 ② Word, Excel, PowerPoint の基本的な操作を身につける。 ③ Web ページ作成の基礎を身につける。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ① 短時間に正確な入力作業を行うことができる。 ② Word, Excel, PowerPoint の基本的な機能を用いた資料（レポート、資料の整理、発表資料）の作成を行うことができる。 ③ シンプルな Web ページを作成することができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 タイピング課題：P 検の無料タイピング練習のインターネット版（ソーシャル投稿非対応）の英語入力を用いた測定を行う。評価における点数は設けず、ある基準を超えることを必須とする。測定は何度も行う。web サイト：http://www.pken.com/tool/typing.html 演習課題：毎回の授業においてその回の理解度をはかるための演習課題を課す。また、PowerPoint を用いたプレゼンテーションも行ってもらふ。 レポート課題：授業をテキストエディタ、Word, Excel, PowerPoint, Html の単元に分ける。各単元の最後にレポートを課す。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 タイピング課題：3 分間で正打率 95%以上、文字数 390 以上を必須とする。 演習課題（50%）：指示通りに提出ファイルが作成されているかどうかをみる。 PowerPoint の実演においては、発表準備が十分にできているかどうかをみる。 レポート課題（50%）：指示通りに作成されているかどうかをみる（各単元 10%）。指示通りに作成されていない場合は再提出を求める。再提出の回数は評価に影響させない。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	PC (Windows) の基本操作	PC 実習、解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング： タイピング演習（1）	PC 実習、解説	前回内容の復習
3	テキストエディタによる文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習、解説	前回内容の復習
4	Word による文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習、解説	テキストエディタのレポート提出
5	Word による文章作成：総合演習 タイピング演習（2）	PC 実習、解説	前回内容の復習
6	Excel による表計算： 関数の扱い、相対参照、絶対参照 など	PC 実習、解説	Word のレポート提出
7	Excel による表計算： グラフの作成・複数のシートの操作など	PC 実習、解説	前回内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
8	Excel による表計算： データベースの操作など	PC 実習、解説	前回内容の復習
9	Excel による表計算：ピボットテーブルの 操作など、タイピング演習（3）	PC 実習、解説	前回内容の復習
10	PowerPoint による資料の作成： 基本的な操作など	PC 実習、解説	Excel のレポート提出
11	PowerPoint による資料の作成：総合演習 タイピング演習（4）	PC 実習、解説	前回内容の復習
12	PowerPoint による資料の作成： プレゼンテーションの実演	PC 実習、解説	発表の準備 PowerPoint のレポート提出
13	HTML による Web ページの作成： HTML 文章の基本構造を学ぶ	PC 実習、解説	前回内容の復習
14	HTML による Web ページの作成： 画像の表示、リンク関係 など	PC 実習、解説	前回内容の復習
15	HTML による Web ページの作成：総合演 習、タイピング演習（5）	PC 実習、解説	前回内容の復習 Html のレポート提出
テキスト	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）		

科目名	MTH200: 数学				担当教員	津垣 正男	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	数学、統計学、適性検査、SPI、非言語能力、数的処理						
授業の概要	統計学とは、大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータの性質を調べることで元の大きなデータの性質を推測する方法を体系化したものである。 本授業では大学における統計学の入門コースで学ぶ内容（授業計画参照）をできるかぎりやさしく解説する。また、適性検査・SPI などにおいて出題される非言語能力（数学）の問題についての解説も行う。共に演習を多く行う。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 ・統計学とは何か、統計学を用いると何ができるようになるのかを知る。 ・就職試験で必要とされる数学の知識が何であるかを知る。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・収集したデータの平均や分散、標準偏差などを計算することでデータの性質を把握することができる。（記述統計） ・大きなデータから一部を抜き取り、その抜き取ったデータに対し推定・検定の計算をすることで元の大きなデータの性質を把握することができる。（推測統計） ・就職試験における数学の問題を短時間で解くことができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 演習：60% 適性試験・SPI：毎回の授業で実際の適性試験・SPI と同様の形式の提出課題を課す。統計学：毎回の授業において各回のテーマに関する提出課題を課す。 各回における統計学の手法が理解できているかどうかの確認を行う。 適性試験・SPI、統計学の提出課題の評価は共に「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の確認を行う。 試験：40% 適性試験・SPI：実際の適性試験・SPI と同様の問題を用いた試験を行う。ただし、考え方の確認も行うので、途中計算と説明の確認も行う。統計学：授業内容の理解の確認をはかる試験を行う。 試験は、適性試験・SPI と統計学のそれぞれに対して最低2回行う（合計4回以上）。 【評価基準 <i>Criteria</i>】 試験及び演習課題の得点で評価を行う。詳細は初回授業で説明する。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	統計学について 適性試験・SPI について	講義、演習	ノートの準備
2	統計学： 平均と分散	講義、演習	前回内容の復習
3	適性試験・SPI： 推論	講義、演習	前回内容の復習
4	統計学： エクセルを用いた平均と分散の復習	講義、演習	前回内容の復習
5	適性試験・SPI： 図形の読み取り・集合	講義、演習	前回内容の復習
6	統計学： 信頼区間（母分散が既知の場合）	講義、演習	前回内容の復習
7	適性試験・SPI： 順列・組み合わせ	講義、演習	前回内容の復習
8	統計学： 信頼区間（母分散が未知の場合）	講義、演習	前回内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	適性試験・SPI： ここまでの演習	講義、演習	前回内容の復習
10	統計学： ここまでの確認・試験	講義、演習	ここまでの内容の復習
11	適性試験・SPI： ここまでの確認・試験	講義、演習	ここまでの内容の復習
12	統計学： 試験の解説・カイ 2 乗検定	講義、演習	試験の復習
13	適性試験・SPI： 試験の解説・確率	講義、演習	試験の復習
14	統計学： カイ 2 乗検定の演習	講義、演習	前回内容の復習
15	適性試験・SPI： 料金の割引・損益算・分割払い・仕事算	講義、演習	前回内容の復習
16	統計学： 母平均の検定	講義、演習	前回内容の復習
17	適性試験・SPI： 速さ・距離・時間	講義、演習	前回内容の復習
18	統計学： 母平均の検定の演習	講義、演習	前回内容の復習
19	適性試験・SPI： 割合・比・代金の清算	講義、演習	前回内容の復習
20	統計学： 対応のない平均の差の検定	講義、演習	前回内容の復習
21	適性試験・SPI： 資料の読み取り・長文読み取り計算	講義、演習	前回内容の復習
22	統計学： 対応のある平均の差の検定	講義、演習	前回内容の復習
23	適性試験・SPI： 整数の推測・グラフの領域	講義、演習	前回内容の復習
24	統計学： 平均の差の検定の演習	講義、演習	前回内容の復習
25	適性試験・SPI： 物の流れと比率・装置と回路	講義、演習	前回内容の復習
26	統計学： ここまでの確認・試験	講義、演習	ここまでの内容の復習
27	適性試験・SPI： ここまでの演習	講義、演習	前回内容の復習
28	統計学： 試験の解説・試験と同範囲の問題演習	講義、演習	試験の復習
29	適性試験・SPI： ここまでの確認・試験	講義、演習	ここまでの内容の復習
30	適性試験・SPI： 試験の解説・試験と同範囲の問題演習	講義、演習	試験の復習

テキスト	向後千春、富永敦子 著『統計学がわかる』（技術評論社）
------	-----------------------------

科目名	PSY200: 心理学				担当教員	森崎 ひろみ	
開講期	春	開講時限	月木1限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	心理、知覚、認知、学習、教育、発達、人格、動機づけ・感情、ストレス、臨床、社会						
授業の概要	心理学の幅広い領域を概観しながら、人間の心について、心理学的な視点から理解を深めます。基本的に講義形式ですが、事前に行った予習から疑問や関心について授業で発表する機会を設けます。なるべく多くの発言を期待しています。また、授業内で関連ある話題や参考図書を紹介します。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 心理学の知識を理解することを通じて、人のこころや行動について理解を深めることを目的とします。さらに、主な心理学領域の知見に触れて、専門性を探求し、将来の職業選択の可能性を広げるなど、日頃の人間理解や社会生活に応用する基礎をつくります。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 心理学の基本的な用語や知識を習得すること、心理学的思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、現代心理学の臨床的な問題を身近な問題として考え、学んだ知識を応用できるようになることを目標とします。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 活発に意見・質問をするといった積極的な授業態度と毎回のリアクションペーパー50% 単元毎の小テストとまとめのテスト3回 50% 【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー：授業で学習したポイントを理解し、自分の視点から適切にまとめ展開できることを評価する。 小テストとまとめのテスト：心理学用語を正確に理解し、適切にまとめ、記述できるかどうか、その上で、応用の設問にこたえることができるかどうかを評価する。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	オリエンテーション：授業の進め方 心理学概論	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキストの目次に目を通してくる
2	心理学の方法 主な研究方法	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.1-10 を読み、用語の事前学習をする
3	心理学の歴史 (1) 起源	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.1-10 を読み、用語の事前学習をする
4	心理学の歴史 (2) 発展	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.1-10 を読み、用語の事前学習をする
5	視知覚心理学 (1) 視知覚の仕組み	講義・リアクションペーパー・小テスト	テキスト pp.13-22 を読み、用語の事前学習をする
6	視知覚心理学 (2) 視知覚と認知	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.13-22 を読み、用語の事前学習をする
7	認知心理学 (1) 情報処理パラダイム	講義・リアクションペーパー・小テスト	テキスト pp.25-34 を読み、用語の事前学習をする
8	認知心理学 (2) 認知の諸側面	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.25-34 を読み、用語の事前学習をする
9	学習心理学 (1) 記憶の種類と特徴	講義・リアクションペーパー・小テスト	テキスト pp.37-46 を読み、用語の事前学習をする
10	学習心理学 (2) 記憶の変容	講義・質疑応答・リアクションペーパー	テキスト pp.37-46 を読み、用語の事前学習をする

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	第1～10回のまとめ 第一回テスト	回答と評価	これまでの復習をする
12	教育心理学 (1) 知能の捉え方	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.49-58 を読み、 用語の事前学習をする
13	教育心理学 (2) 測定と変化	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.49-58 を読み、 用語の事前学習をする
14	発達心理学 (1) 発達の視点	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.61-70 を読み、 用語の事前学習をする
15	発達心理学 (2) 発達の諸問題	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.61-70 を読み、 用語の事前学習をする
16	人格心理学 (1) 自己とパーソナリティ	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.73-82 を読み、 用語の事前学習をする
17	人格心理学 (2) パーソナリティの測定	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.73-82 を読み、 用語の事前学習をする
18	感情・動機づけの心理学 (1) 動機づけの諸側面	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.85-94 を読み、 用語の事前学習をする
19	感情・動機づけの心理学 (2) 感情の諸側面	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.85-94 を読み、 用語の事前学習をする
20	第11～19回のまとめ 第二回テスト	回答と評価	これまでの復習をする
21	健康・ストレス心理学 (1) ストレスの理論	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.97-106 を読 み、用語の事前学習をする
22	健康・ストレス心理学 (2) ストレスと適応	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.97-106 を読 み、用語の事前学習をする
23	臨床心理学 (1) 非行・犯罪の理解	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.109-133 を読 み、用語の事前学習をする
24	臨床心理学 (2) 病理・異常の理解	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.109-133 を読 み、用語の事前学習をする
25	臨床心理学 (3) 治癒・回復へのアプローチ	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.109-133 を読 み、用語の事前学習をする
26	社会心理学 (1) 対人関係の心理	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.157-169 を読 み、用語の事前学習をする
27	社会心理学 (2) 社会状況と心理	講義・質疑応答・リ アクションペーパー	テキスト pp.157-169 を読 み、用語の事前学習をする
28	心理学レポート論文の読み方・書き方 検索・統計・論文構成など	講義・リアクション ペーパー・小テスト	テキスト pp.181-192 を読 み、用語の事前学習をする
29	第20～28回のまとめ 第三回テスト	回答と評価	これまでの復習をする
30	テストの採点と復習 全体のまとめと、質疑と補足	補足の講義・質疑応 答	全体の振り返りを行う

テキスト	小野寺孝義・磯崎三喜年・小川俊樹編『心理学概論—学びと知のイノベーション』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	秋学期に発達心理学を履修する学生は、その前に「心理学」を履修しておくことをすすめる

科目名	PED100: 体育理論（ウェルネスと身体）					担当教員	木戸 直美
開講期	春／秋	開講時限	火2限 火3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	健康、ライフスタイル、スポーツ、身体知、身体意識、コミュニケーション						
授業の概要	ウェルネス（wellness）とは、世界保健機関（WHO）が国際的に提示している「健康」の定義をより広範囲な視点から捉えた、現代における包括的な健康観である。この授業では、「健康とは何か？」及び「身体とは何か？」について深く言及し、豊かなライフスタイルを構築する上での知識や主体的行動力を身に付けることを学ぶ。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「健康」、「身体」についての認識をより深め、豊かなライフスタイルを構築するための自身の健康観を持つことができる。実際の日常生活において自身の健康観に基づき実行することができる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 - 健康観の歴史的変遷、概念について理解する。 - 現在の自分自身の健康状態についてウェルネスの観点から、正しく把握する。 - 自分自身の健康観について論理的に展開し、表現することができる。それらを日常生活に導入することができる。 - オリンピックムーブメント・オリンピックレガシーを意識し、自身とスポーツとの関係について考えることができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時の積極参加 25%、リアクションシート 25%、中間レポート 20%、期末レポート 30% 【評価基準 <i>Criteria</i>】 授業時の積極参加：授業時の態度、発言、ディスカッションでの積極性 リアクションシート：授業の理解度及び、自らの学びの省察の記述 中間レポート・期末レポート：提示したポイントからのアプローチ、総合的な論文構成						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	ガイダンス、ウェルネスの領域	講義・ディスカッション・リアクションシート	1回の復習
2	健康の概念	講義・ディスカッション・学生発表・リアクションシート	ディスカッション資料準備
3	健康と体力 (新体力テスト)	参加型講義・ペアワーク・リアクションシート	新体力テストについて予習
4	健康の三要素＜栄養、運動、休養＞① (生活活動調査)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習、生活活動調査
5	健康の三要素＜栄養、運動、休養＞② (栄養と食事調査)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習、食事調査
6	健康の三要素＜栄養、運動、休養＞③ (休養とストレスマネジメント)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習
7	遊び・スポーツ・文化① (ホイジンガ・カイヨワの遊びについて)	講義・ディスカッション・リアクションシート 中間レポート提出	これまでの復習
8	遊び・スポーツ・文化② (現代におけるスポーツの役割について)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	コミュニケーションと身体① (身体知について)	参加型講義・ペアワーク・グループワーク・リアクションシート	これまでの復習
10	コミュニケーションと身体② (身体を媒介とする他者とのコミュニケーションについて)	参加型講義・ペアワーク・グループワーク・リアクションシート	これまでの復習、 身体意識チェックシートの記入
11	スポーツ科学と身体意識	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習
12	わたしたちの健康観 (女性としての生き方)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習
13	自己調節作用① (自律神経系について)	講義・ディスカッション・リアクションシート	これまでの復習
14	自己調節作用② (現代における健康維持増進の方法)	参加型講義・ディスカッション・ペアワーク・グループワーク・リアクションシート 期末レポート提出	これまでの復習
15	スポーツ情報とスポーツイベント	参加型講義・ディスカッション・ペアワーク・グループワーク・リアクションシート	これまでの復習

テキスト	ニュース記事、生活活動調査等の資料を授業時に配布
参考書	大学生の健康・スポーツ科学研究会編『大学生の健康・スポーツ科学 改訂版』（道和書院） ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』（中公文庫） カイヨワ『遊びと人間』（講談社学術文庫） 金子明友『身体知の構造』（明和出版） 高岡英夫『身体意識を鍛える』（青春出版社）
その他 特記事項	健康管理を行う。日常生活において自分自身の健康・身体に高い関心を持つ。

科目名	PED110: 体育（球技 1）					担当教員	木戸 直美
開講期	春／秋	開講時限	金2限 金3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	テニス技能、運動の発生、身体知、コミュニケーション、大会運営						
授業の概要	テニスは、運動経験（初心者～上級者）が様々であるが、各自の技能に応じた「できない」から「できる」への運動メカニズムを体得することを学ぶ。テニスの基本技能の習得、さらに生涯スポーツへと方向づけることを目的とする。また、スポーツ実践を通して体力の維持・増進、及びコミュニケーション能力の向上を目指す。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 テニスの基本技能を習得し、環境に応じたスポーツ展開の創造へと発展させることができる。スポーツ実践を通して、体力の維持・増進を図る。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・テニスの基本技能を習得する。 ・ゲーム戦術、審判方法を理解することができる。 ・テニスの種目特性を理解し、ゲームに通じたコミュニケーション方法を習得する。 ・ゲームを楽しむことができる。 ・オリンピックムーブメント・オリンピックレガシーを意識し、自身とスポーツとの関係について考えることができる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時の積極参加 50%、リアクションシート 20%、レポート 30% 【評価基準 <i>Criteria</i>】 授業時の積極参加：授業時の態度 リアクションシート：身体知やコミュニケーションの視点から自らの学びの省察の記述 レポート：提示したポイントの記述、総合的な論文構成						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	ガイダンス、テニスの歴史	体育館に集合 リアクションシート	テニスの歴史について予習
2	テニス：グリップ、ラケットワーク、ストローク	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
3	テニス：ストローク（フォアハンド、バックハンド）①	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
4	テニス：ストローク（フォアハンド、バックハンド）②	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
5	テニス：サービス、サービスレシーブ	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
6	テニス：サービス、ボレー	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
7	テニス：ミニゲーム①	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
8	テニス：ミニゲーム②	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
9	テニス：ストロークとラリー	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
10	テニス：ダブルスゲーム	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
11	テニス：ダブルスゲーム（戦術）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
12	テニス：ダブルスゲーム（大会運営）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
13	室内スポーツ：FD	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート、レポート提出	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
14	室内スポーツ：ミニテニス（基礎練習）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習
15	室内スポーツ：ミニテニス（ゲーム）	ペアワーク、グループワーク、リアクションシート	ハンドアウト上のルールを読んで理解する。これまでの復習

テキスト	ルールのポイントについての資料配布
参考書	金子明友『わざの伝承』（明和出版） 浅田隆夫『現代の保健体育』（学術図書出版）
その他 特記事項	スポーツウェア・スポーツシューズを着用する。 雨天時は室内スポーツ（13・14・15回）と入れ替える。 健康管理を行う。

科目名	PED111: 体育（球技 2）				担当教員	原川 愛	
開講期	春／秋	開講時限	金 2 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	運動技能の構造・成熟・定着・適応、球技、ニュースポーツ、生涯スポーツ						
授業の概要	各スポーツの基礎技術を定着させると共に、コミュニケーション能力も高める。それぞれの種目の特性を活かし、ゲームを楽しむ。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 ゲームに必要な個人の基礎技術を習得し、個人の能力を尊重しながら、コミュニケーション能力を高め、自らの生涯スポーツへと発展させることができる。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・各種目の技術を獲得し、ゲームを楽しめるようになる。 ・ゲームを通じ、コミュニケーション能力を身に付けることができる。 ・ルールや審判方法を理解し、ゲームの運営ができるようになる。 ・オリンピックムーブメントを意識し、自身とスポーツの関係について考えることができるようになる。						
評価方法 および 評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業の積極参加 50%、リアクションペーパー 20%、レポート 30% 【評価基準 <i>Criteria</i>】 積極参加：授業時の態度 リアクションペーパー：各種目の終了時に、質問に対して、自己を振り返り、学んだことを適切に記述できるか。 レポート：授業を通して、人とコミュニケーションをとることの重要さや、生涯スポーツのあり方について理解し記述できているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	バドミントン（1）基礎技術 サーブ、ストローク	ペアワーク	体調管理
2	バドミントン（2）基礎技術 フライト	ペアワーク	体調管理・ルールの確認
3	バドミントン（3）ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
4	卓球（1）基礎技術 ストローク、サーブ	ペアワーク	体調管理
5	卓球（2）基礎技術 フットワーク	ペアワーク	体調管理・ルールの確認
6	卓球（3）ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
7	バレーボール（1）基礎技術 パス、サーブ、レシーブ	ペアワーク	体調管理
8	バレーボール（2）基礎技術 トス、スパイク、フォーメーション	ペアワーク	体調管理・ルールの確認
9	バレーボール（3）ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
10	バスケットボール（1）基礎技術 パス、ドリブル、シュート	ペアワーク	体調管理
11	バスケットボール（2）基礎技術 グループ戦術	ペアワーク	体調管理・ルールの確認

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12	バスケットボール（3）ゲーム	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・ルールの確認
13	ニュースポーツ（1）	ペアワーク・レポート提出	体調管理・資料調査・レポート作成
14	ニュースポーツ（2）	ペアワーク	体調管理・資料調査
15	ニュースポーツ（3）	グループワーク・リアクションペーパー	体調管理・資料調査

科目名	PED112: 体育（体操）				担当教員	原川 愛	
開講期	春／秋	開講時限	金 3 限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	体操、体づくり運動、からだほぐし、健康、体力、ストレッチ、新体操、運動発生						
授業の概要	身体づくり、動きづくり、健康づくりを中心に、ストレッチ体操、リズム体操、手具体操を取り入れながら、自己の身体を知り、運動の役割を理解する。 手具体操は主に新体操競技で扱う手具を使用し、身体の動きと手具操作を音楽と一緒に実践する。						
達成目標および到達目標	【達成目標 <i>Course goals</i>】 「からだ」を動かすことの楽しさや喜びを知り、自ら健康や体力に配慮し、それらを保持増進していくために必要な習慣を身につける。 新体操の手具の特性を理解し、手具操作の習得を目指す。 【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 ・ 自己の体力の向上を図り、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を高めることができる。 ・ 新体操の手具の基本操作を体得する。 ・ 音楽のリズムや曲調をとらえながら身につけた手具の基礎技術を組み合わせて作品を構成することができる。 ・ オリンピックムーブメントを意識し、自身とスポーツの関係について考えることができるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法 <i>Categories</i>】 授業の積極参加（50%）、実技テスト（30%）、レポート（20%） 【評価基準 <i>Criteria</i>】 積極参加：授業時の態度 実技テスト：ストレッチ体操については、運動経験が様々なため、評価は、運動を正しく理解して動かすことができているかどうかを基準にする。作品発表については、提示した基礎技術を的確に作品に取り入れることができているか。 レポート：授業を通して、健康・体力維持と体操は、どのような関係があるのかを理解し、記述できているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	からだほぐし・体力づくり	実技	体調管理
2	ストレッチ体操	実技	前回の復習、体調管理
3	ストレッチ体操	実技、ペアワーク	前回の復習、体調管理
4	ストレッチ体操	実技、ペアワーク	前回の復習、体調管理
5	手具体操フープ（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
6	手具体操フープ（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理
7	手具体操ボール（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
8	手具体操ボール（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	手具体操リボン（基本操作）	実技	前回の復習、体調管理
10	手具体操リボン（二人組・小グループ）	実技、ペアワーク・グループワーク	前回の復習、体調管理
11	グループによる作品作り①	実技、グループワーク	発表の準備、体調管理
12	グループによる作品作り②	実技、グループワーク、レポート提出	発表の準備、体調管理、レポート作成
13	グループによる作品作り③	実技、グループワーク	発表の準備、体調管理、実技試験対策
14	グループによる作品作り④実技試験	実技、グループワーク、実技試験	発表の準備、体調管理
15	作品発表・総評	グループ発表	発表、体調管理